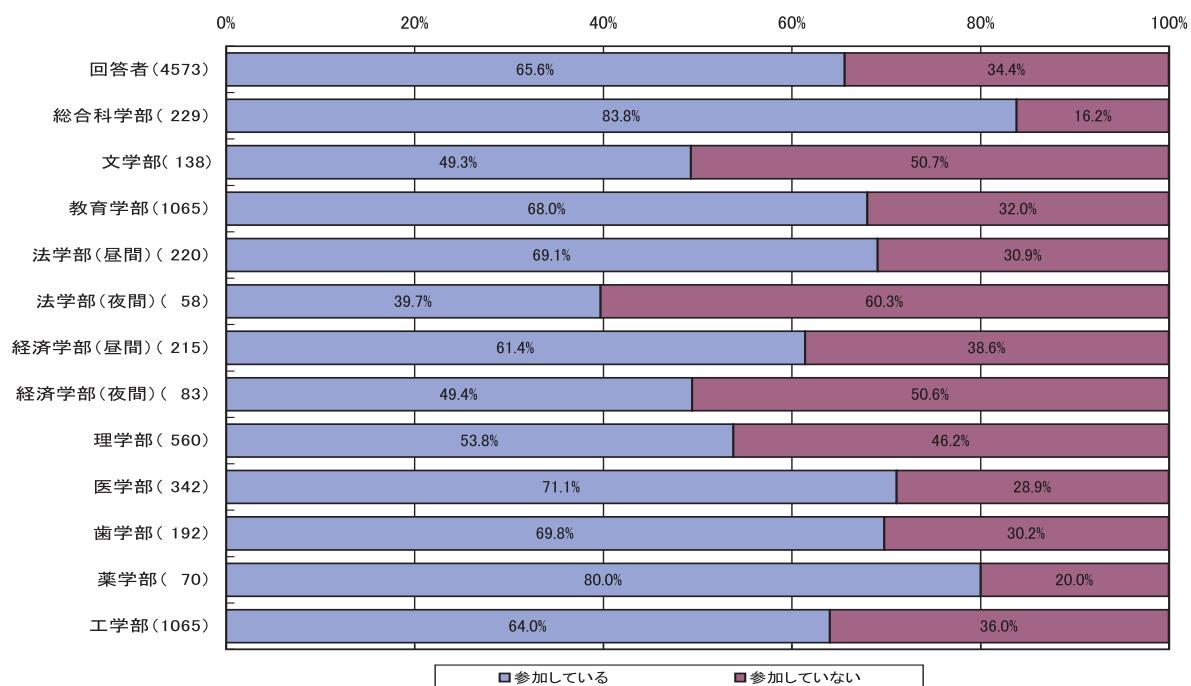


1. 学生生活と日常生活について

問1 クラブ・サークルへの参加

全体では66%と3人に2人が参加している。夜間主コースの参加率が低いことは、時間的制約などがあるためと予想されるが、文学部や理学部でも参加比率が比較的低い特徴がみられる。

問1 あなたは大学内のクラブやサークル活動に参加していますか。

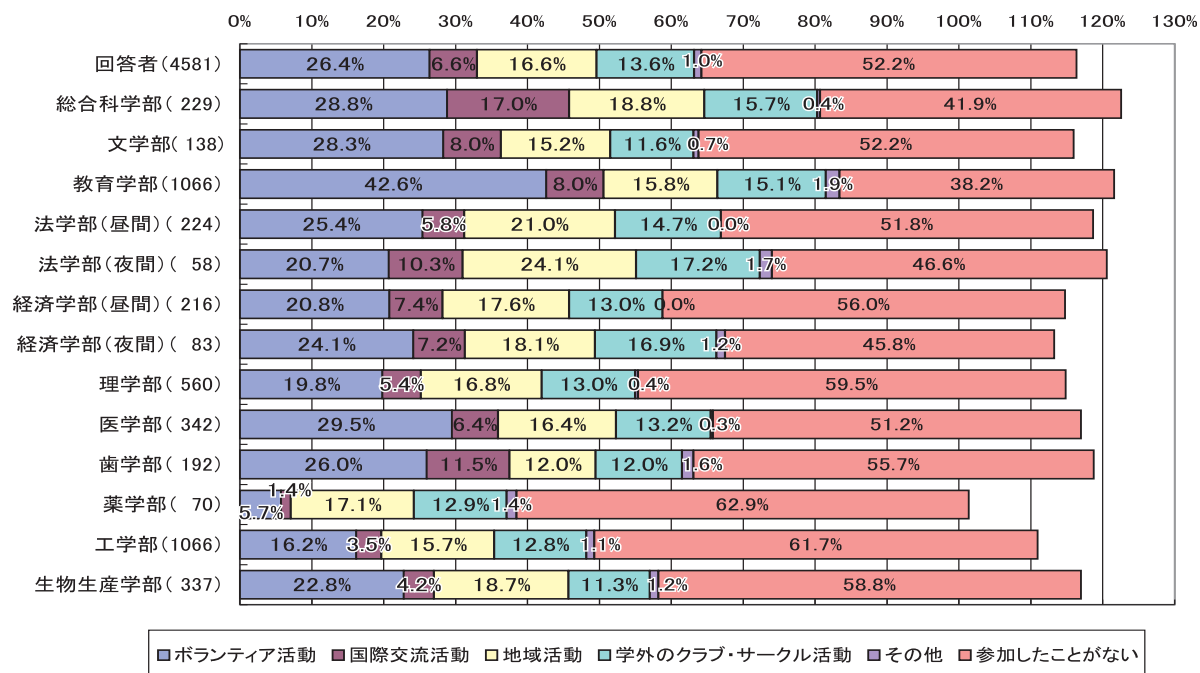


問2 ボランティアや地域活動への参加

全体ではほぼ半数が、何らかの活動に参加した経験を持っている。中でも参加が多かったのはボランティア活動 (26%) で、次いで地域活動 (17%)、学外のクラブ活動 (14%) の順となっている。

問2 あなたはボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。

該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

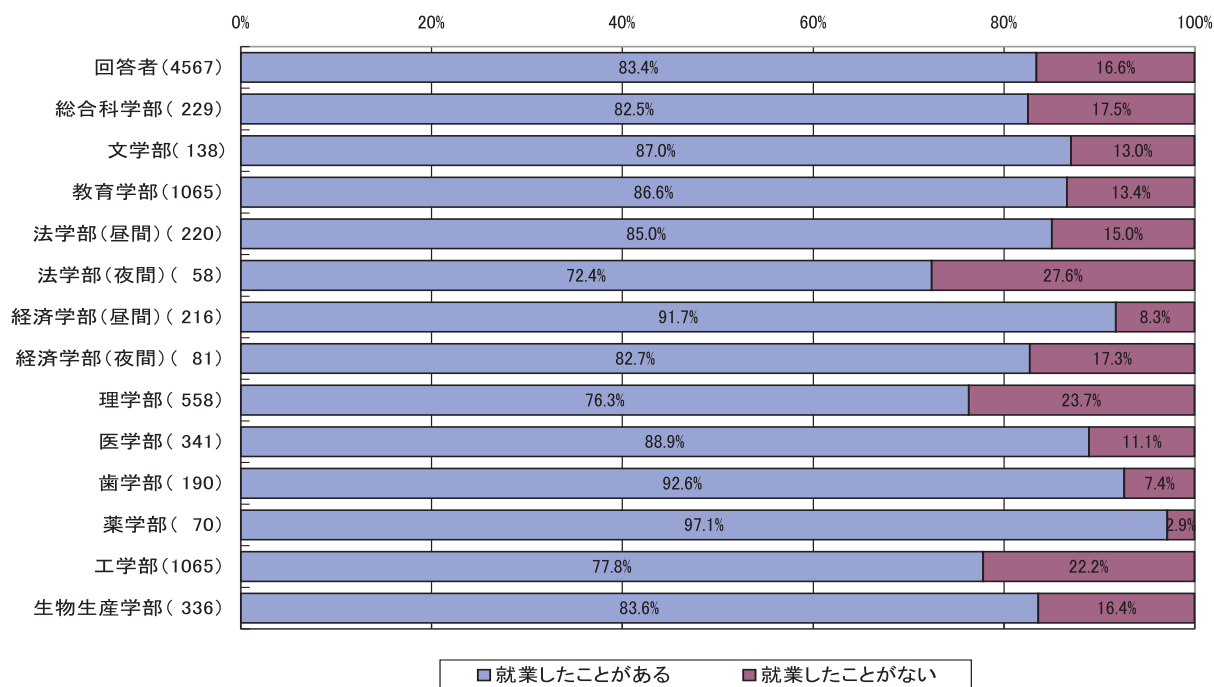


問3 アルバイトの経験

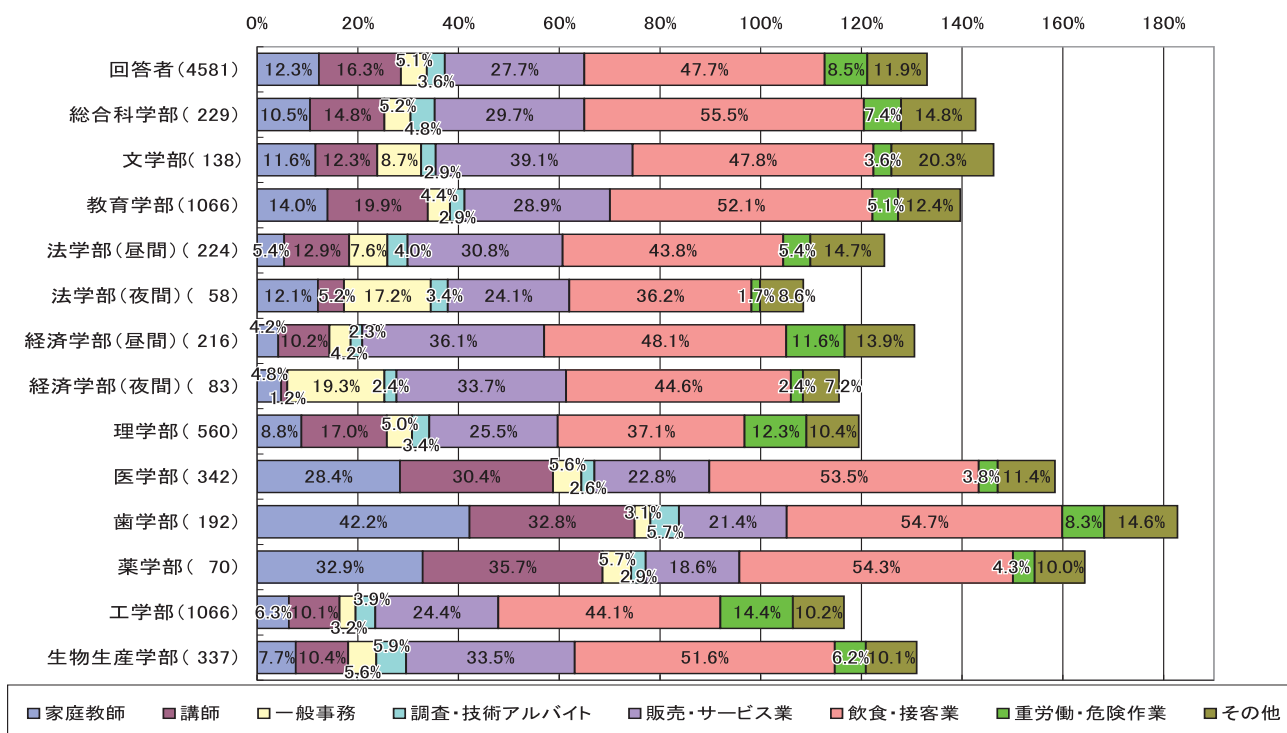
全体では8割以上がアルバイトを経験している。アルバイトの経験が多い業種は、飲食・接客(48%)と販売・サービス(28%)であり、塾・予備校の講師や家庭教師の経験は10%台となっている。アルバイトに充てている時間は、平日の月曜から金曜までの5日間で平均8.3時間、土日の2日間で平均6.4時間となっている。

学部別では夜間主コースで就業時間が明らかに長い、それ以外については人文社会系の学部の方が、自然科学系よりもアルバイトに費やす時間は長くなっている。

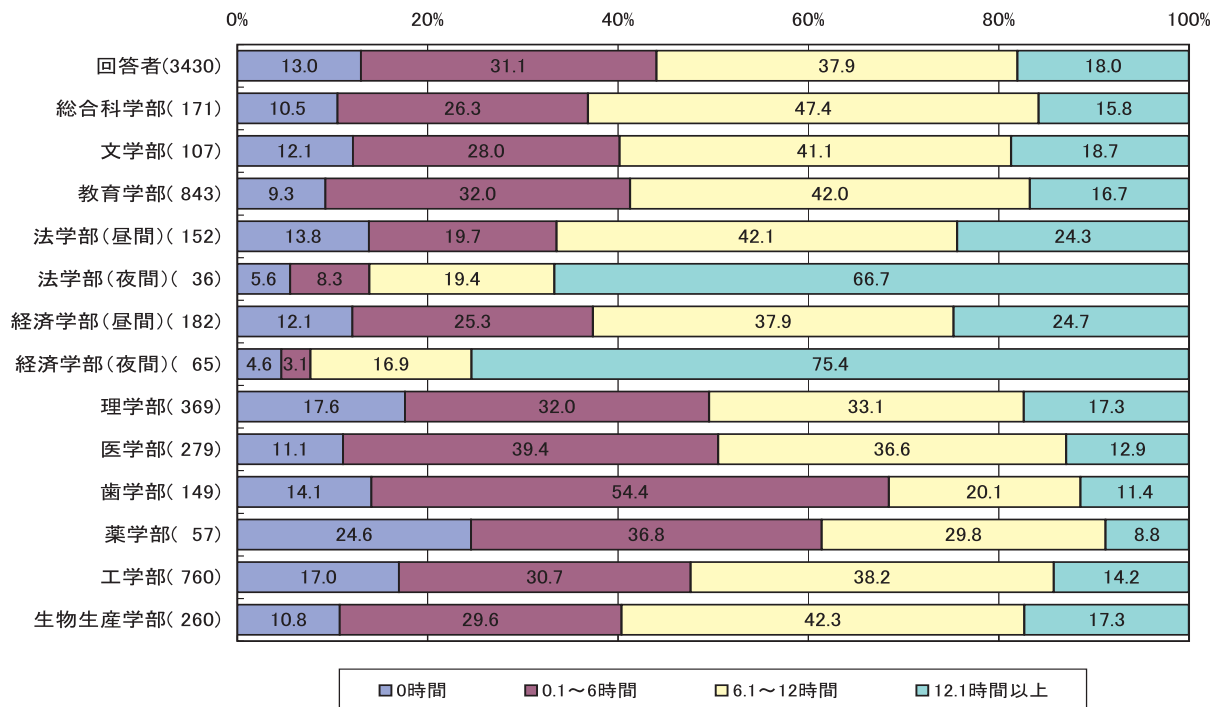
問3 あなたは入学後、何らかのアルバイトに就業したことがありますか。



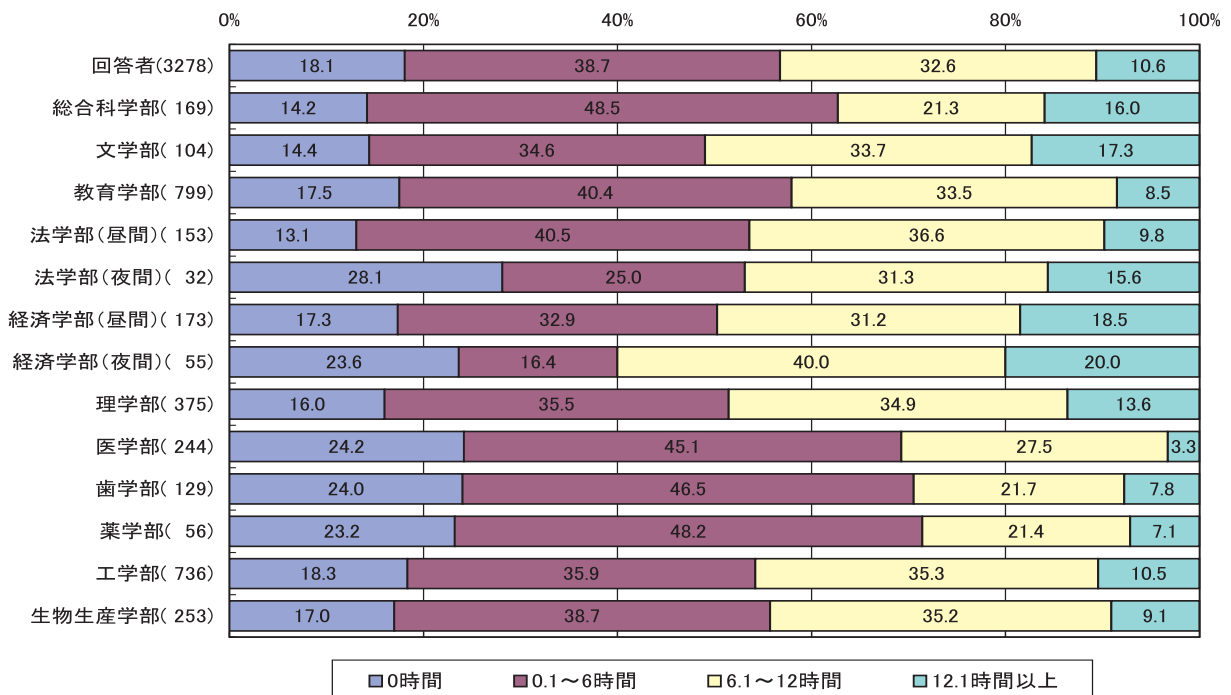
就業したことがあると答えた方に尋ねます。
その業種に○をしてください。(複数回答可)



問3-2 アルバイトに充てている時間
①月曜から金曜の合計就業時間



②土曜 及び 日曜・休日の就業時間



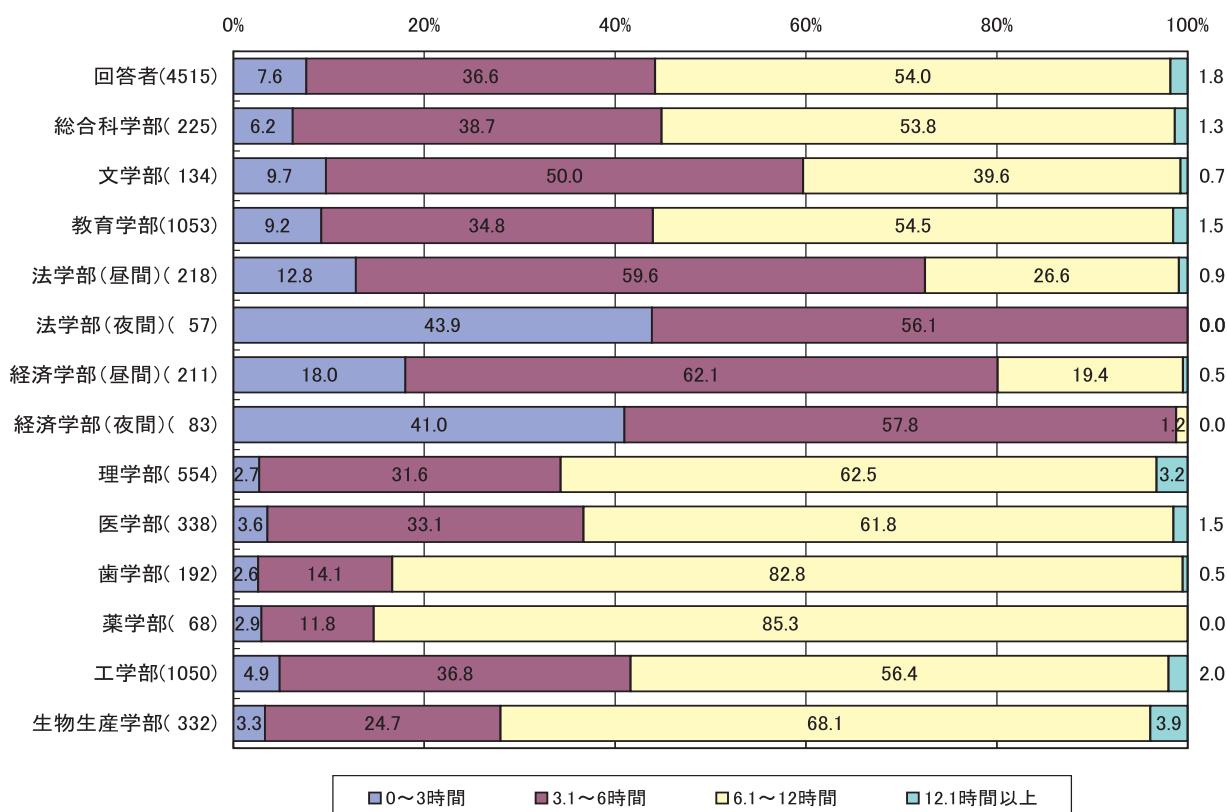
問4 大学への滞在時間と滞在场所

全体では1日平均7.1時間を大学で過ごしている。学年による相違を考慮していない値であるが、大学への滞在時間が長い学部は、薬学部（8.2時間）、歯学部（8.1時間）、生物生産学部（7.9時間）の順となっている。逆に短いのは、夜間主コースを除くと、経済学部（5.2時間）、法学部（5.7時間）、文学部（6.3時間）である。

設問は個人の滞在時間を10割としたときに、それぞれどのくらいの割合を6項目の場所・施設が占めるかを尋ねているため、集団として各場所・施設の占める比率を算出することは適切でない。ただし、イメージを得るために便宜的に述べると、滞在時間に占める割合が多いのは、授業が行われる教室（6.4割）である。大半の過ごし場所が教室となる夜間主コースを除くと、医学部（7.4割）、歯学部（6.9割）、法学部（6.6割）の順に教室の占める比率が高い。次いで高い比率が研究室・実験室の4.1割で、工学部（5.4割）、生物生産学部（5.3割）、理学部（4.1割）、薬学部（3.9割）の順に比率が高い。図書館以降の4項目については、割合がいずれも1割前後の値であった。

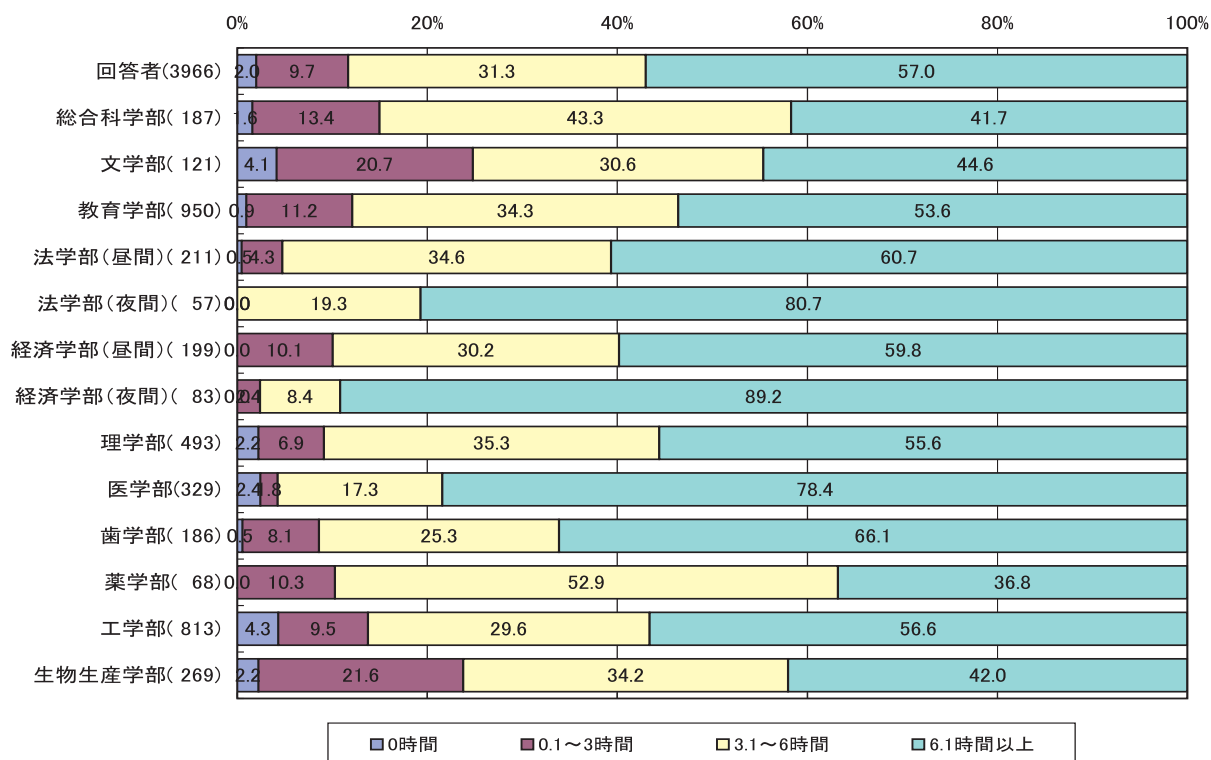
なお、大学構内にくつろいで過ごせる場所があるかとの問いに、「ある」と回答したのは全体の71%である。スペースや居室の構造が異なるためであろうか、学部によって回答傾向は異なる。まず東千田キャンパスや霞キャンパスは「ない」と回答する割合が高い。また、東広島キャンパスでは、教育学部（83%）、生物生産学部（83%）、総合科学部（82%）で「ある」と回答した割合が特に高くなっている。

問4 あなたは大学の構内にどれくらい滞在し、その時間をどんな場所で過ごしていますか。 滞在時間

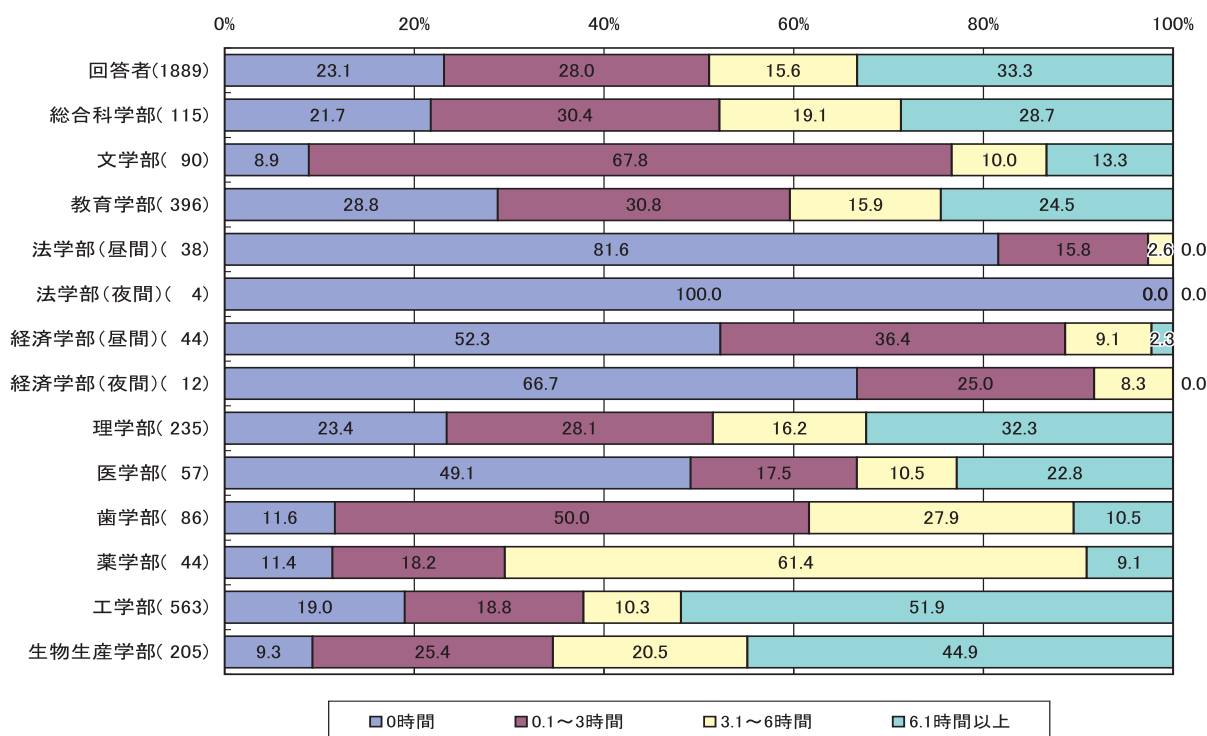


その時間をどこで過ごしていますか。
滞在時間に占める割合で教えてください。

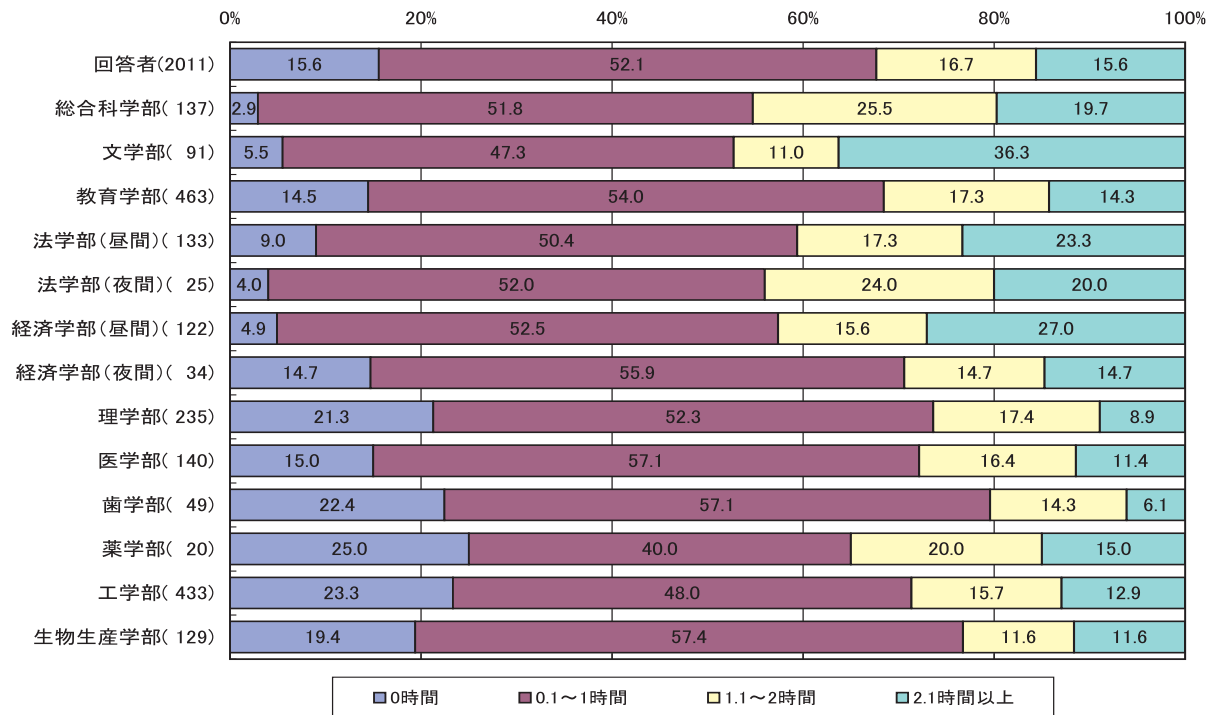
① 教室



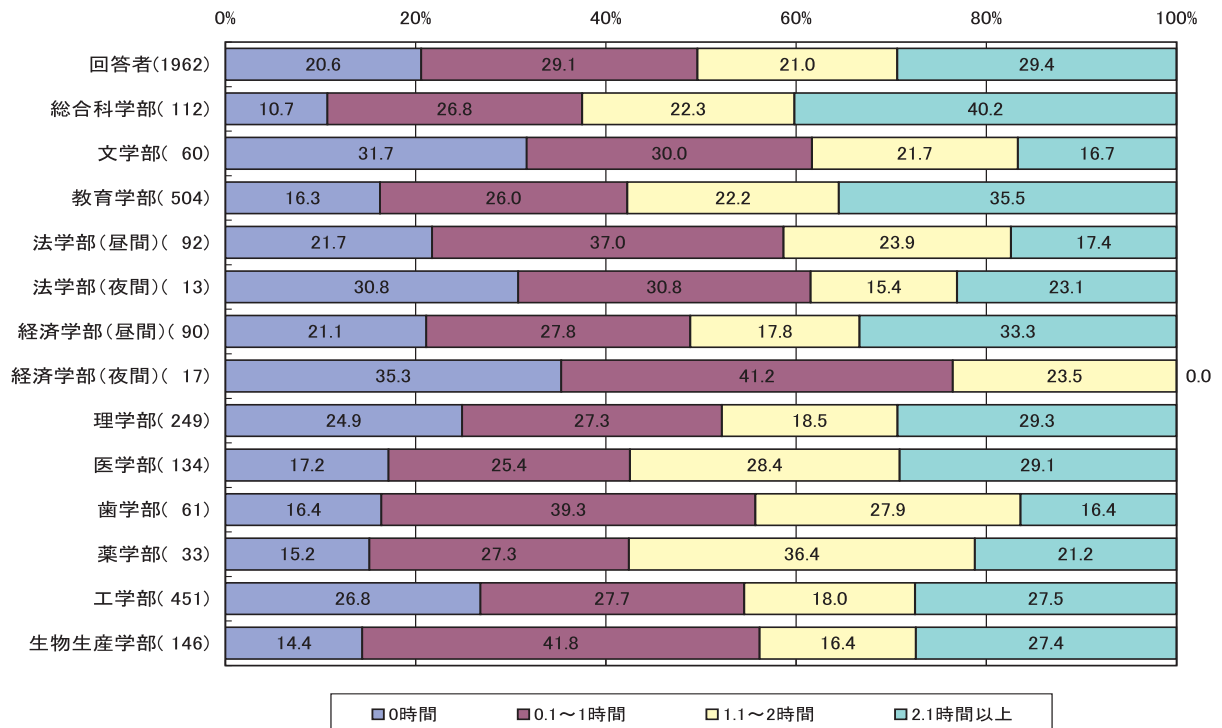
② 研究室、実験室など



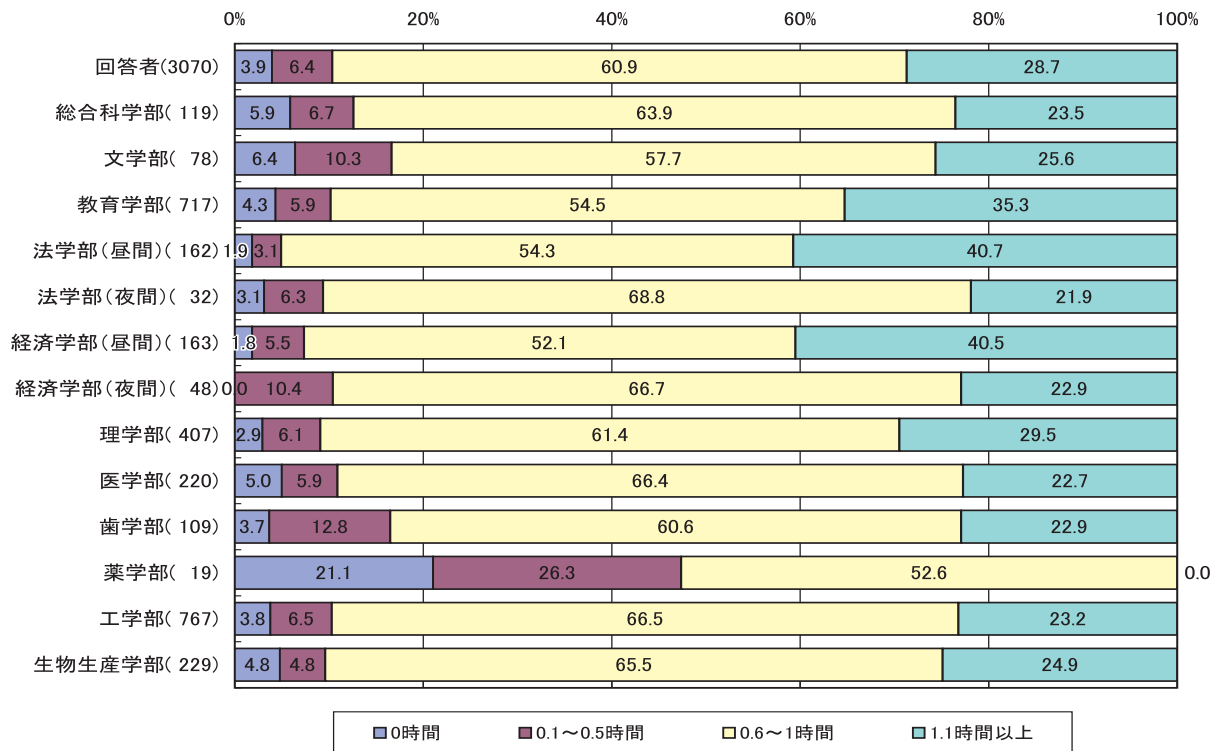
③ 図書館



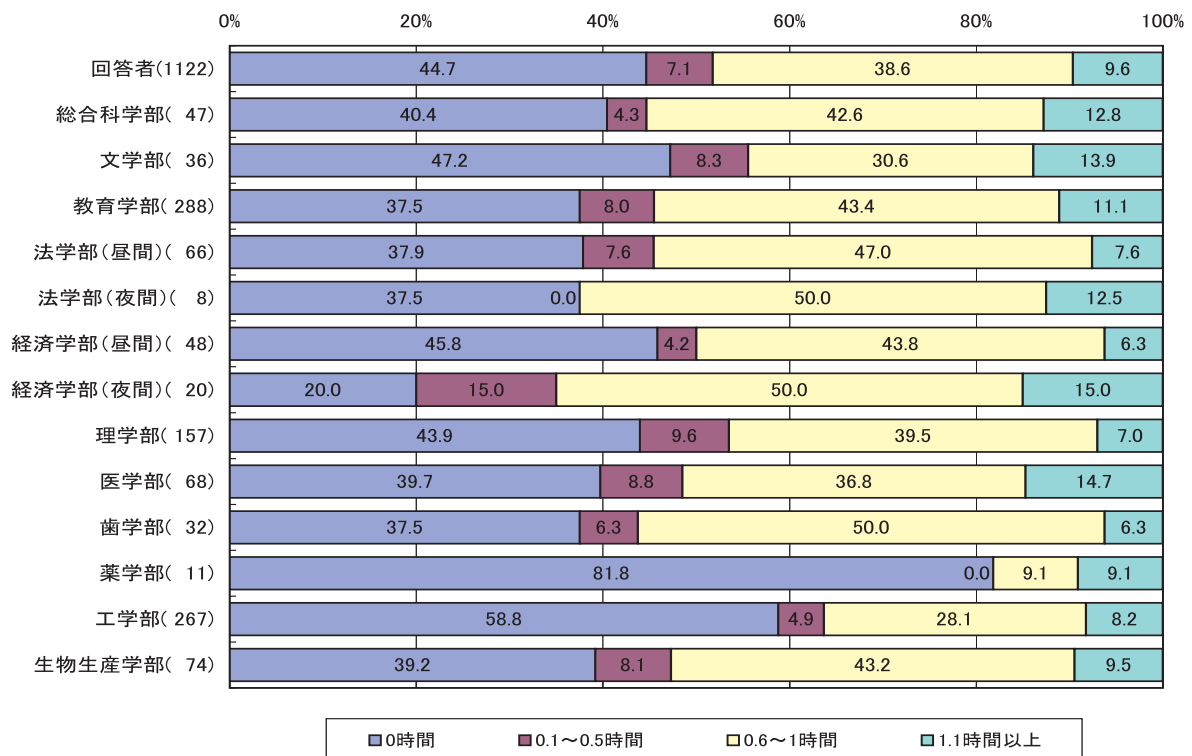
④ サークル



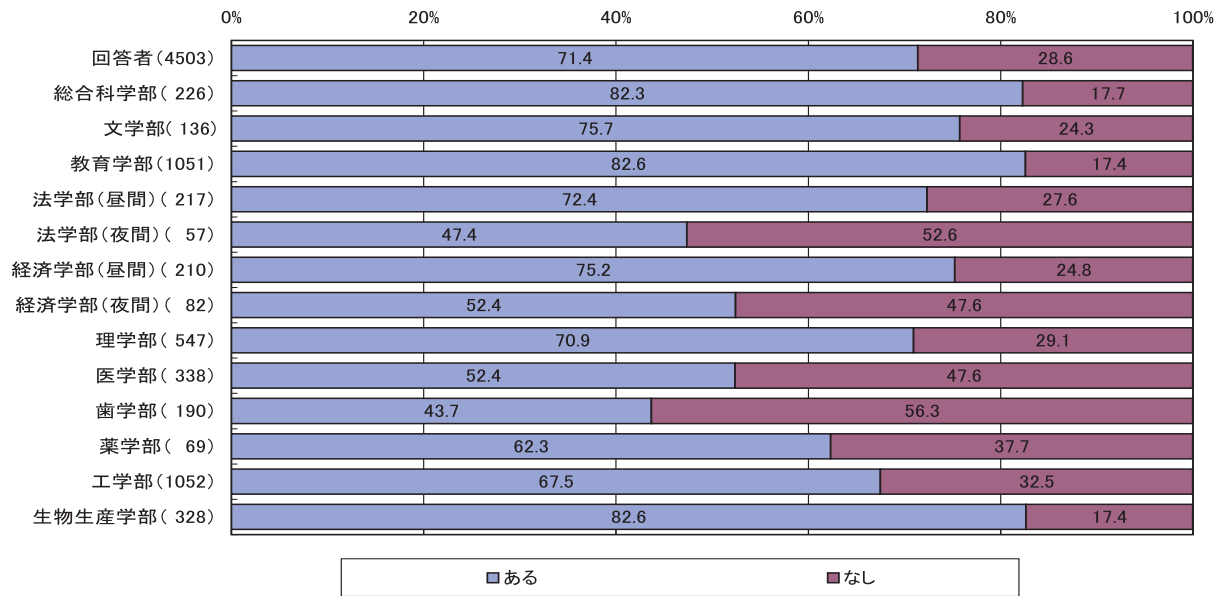
⑤ 食堂・喫茶・売店などの福利施設



⑥ 構内の緑地・屋外施設



問4-3 大学内にくつろいで過ごせる場所がありますか。



問5 1ヶ月の生計費

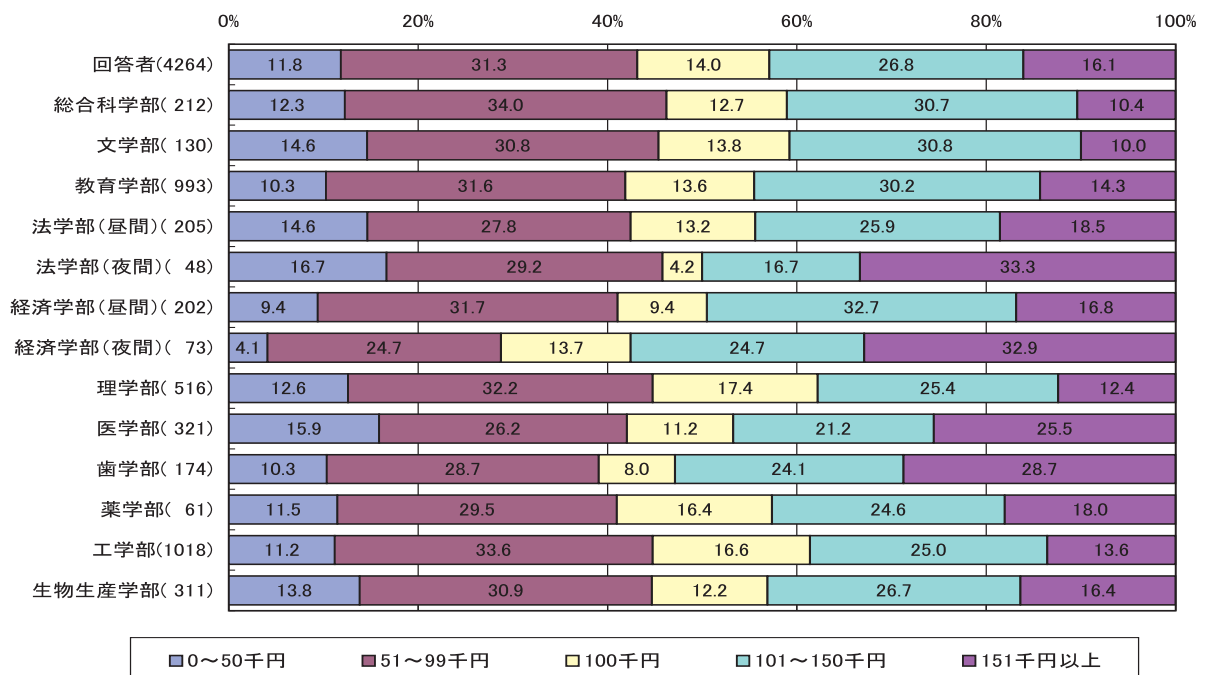
1ヶ月の収入の平均は10万1千円となっており、内訳は仕送り5万9千円、奨学金4万円、アルバイト・給与3万7千円、借入金・ローン1万2千円である。学部別にみると、収入額が多いのは経済学部夜間主コース(13万円)、歯学部(11万2千円)、法学部夜間主コース(11万8千円)、医学部(10万4千円)の順、低いのは文学部(9万4千円)、理学部(9万6千円)、薬学部(9万6千円)、総合科学部(9万8千円)の順である。

また、支出額の平均は9万3千円となっており、額の多いものを挙げると、家賃・高熱水量4万4千円、食費・外食費2万3千円、貯蓄1万5千円、被服・服飾・美容費1万円の順となっている。

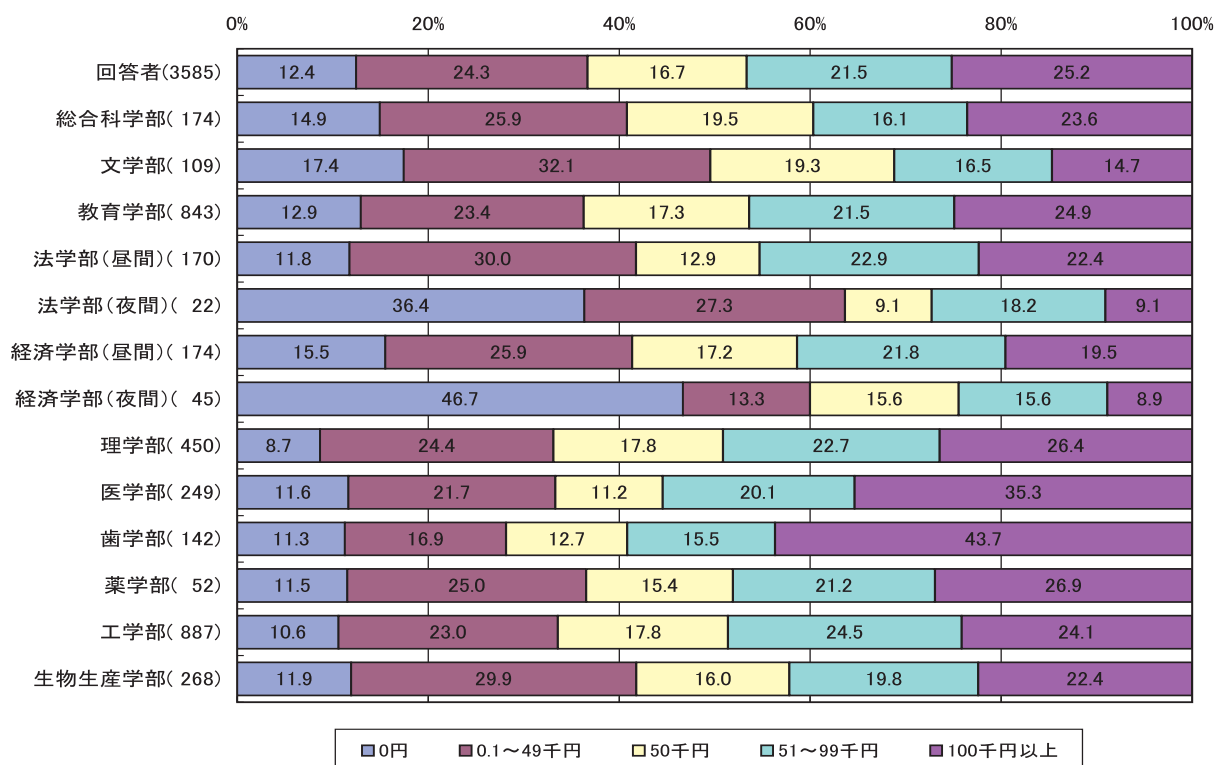
学部別にみると、支出額が多いのは法学部夜間主コース(12万8千円)、歯学部(11万8千円)、経済学部夜間主コース(11万円)の順、低いのは文学部(8万4千円)、総合学部(8万6千円)、生物生産学部(8万9千円)の順である。

問5 あなたの1ヶ月の生計費などの収支を千円単位で教えてください。

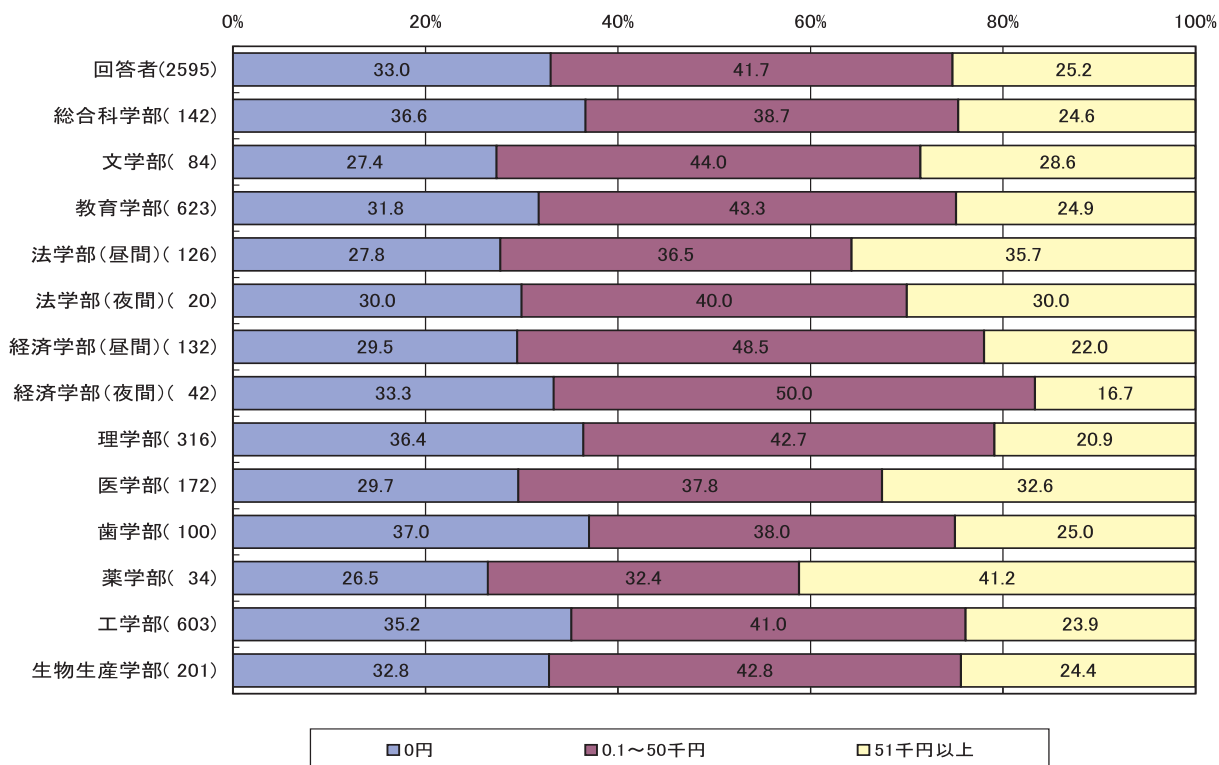
収入 月額



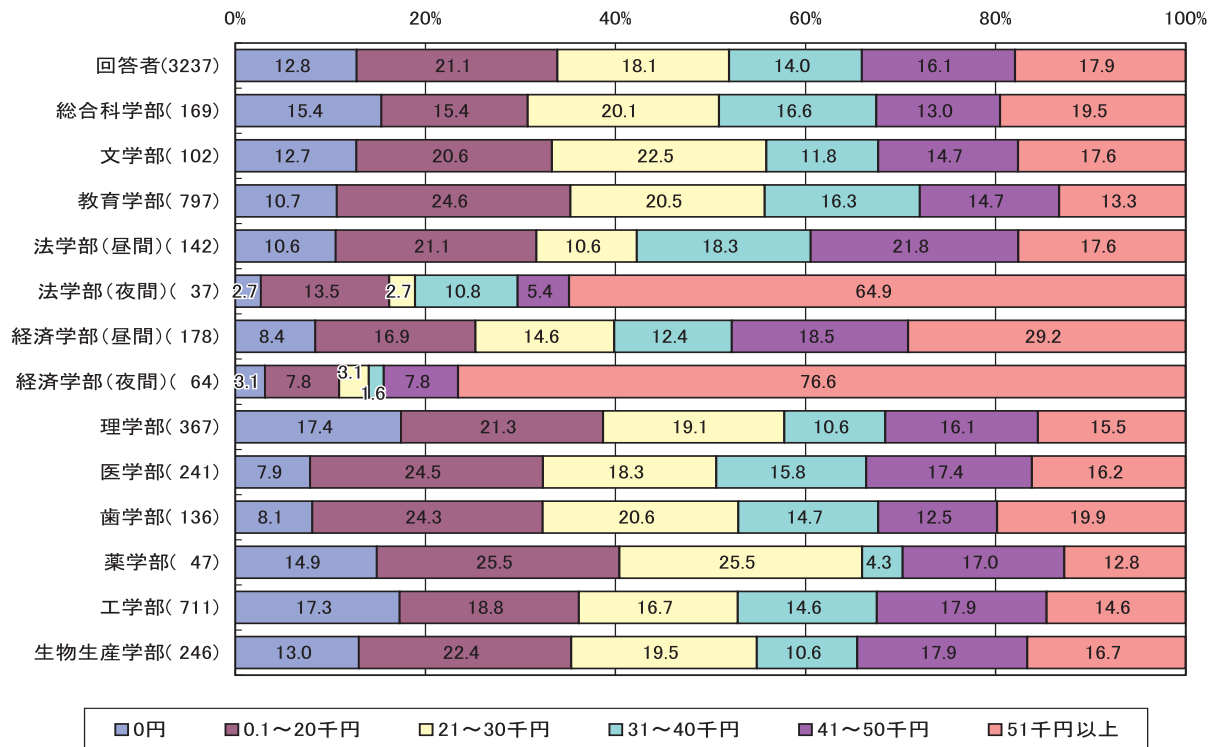
① 仕送り



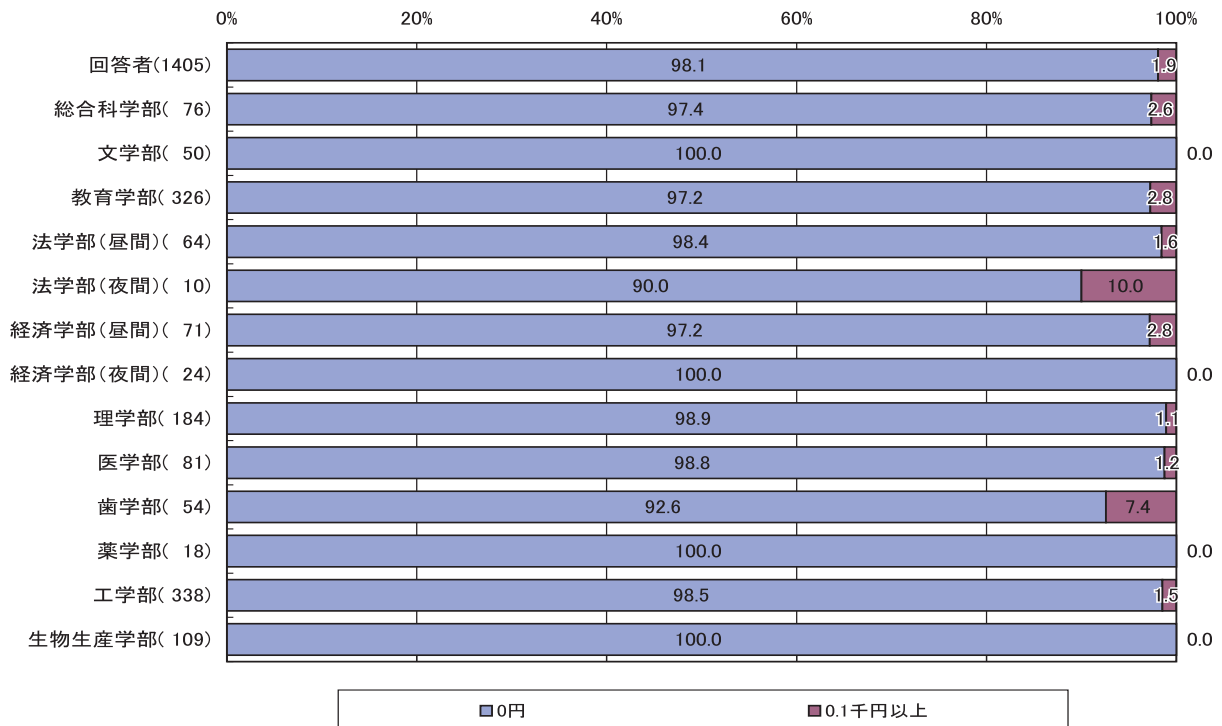
② 奨学金



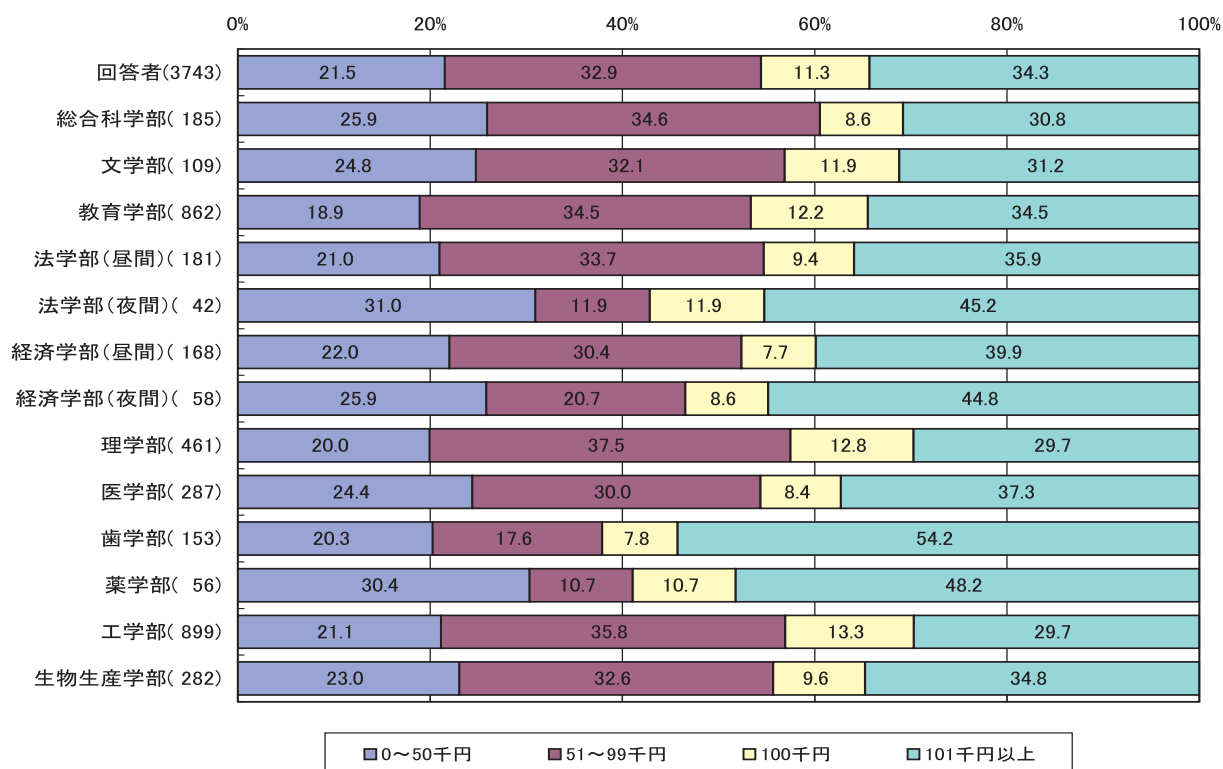
③ アルバイト・給与



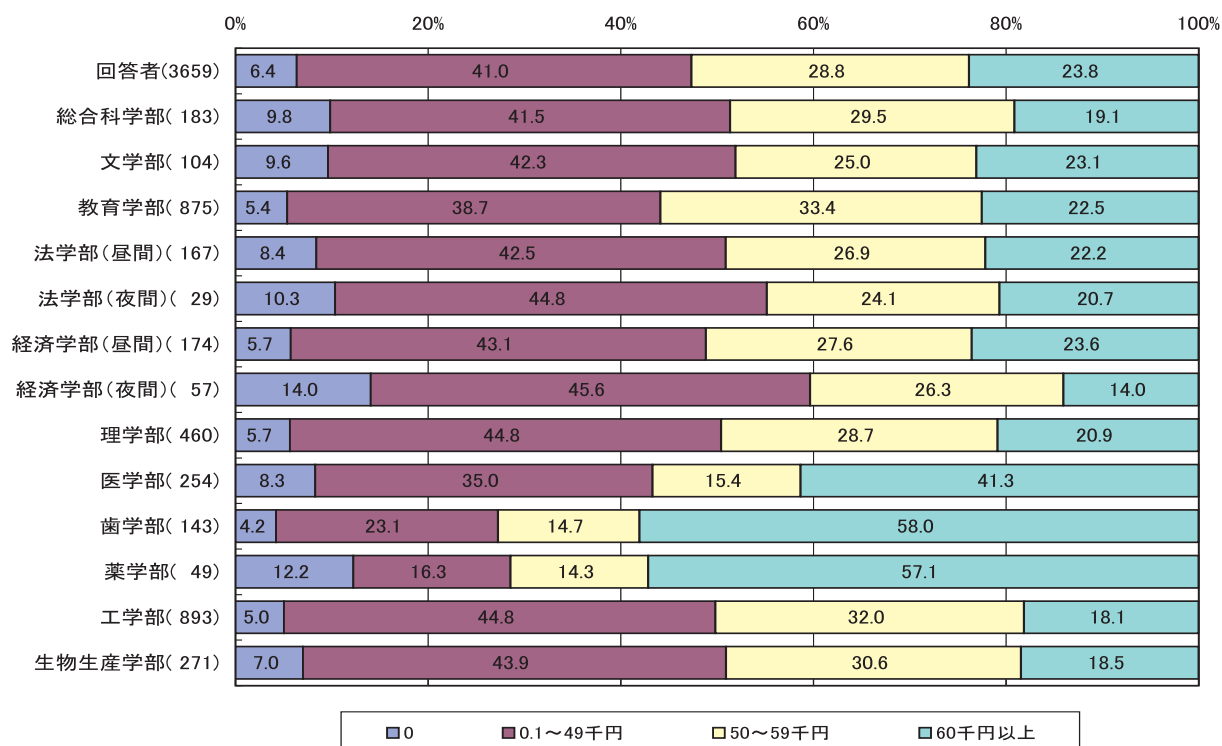
④ 借入金・ローン



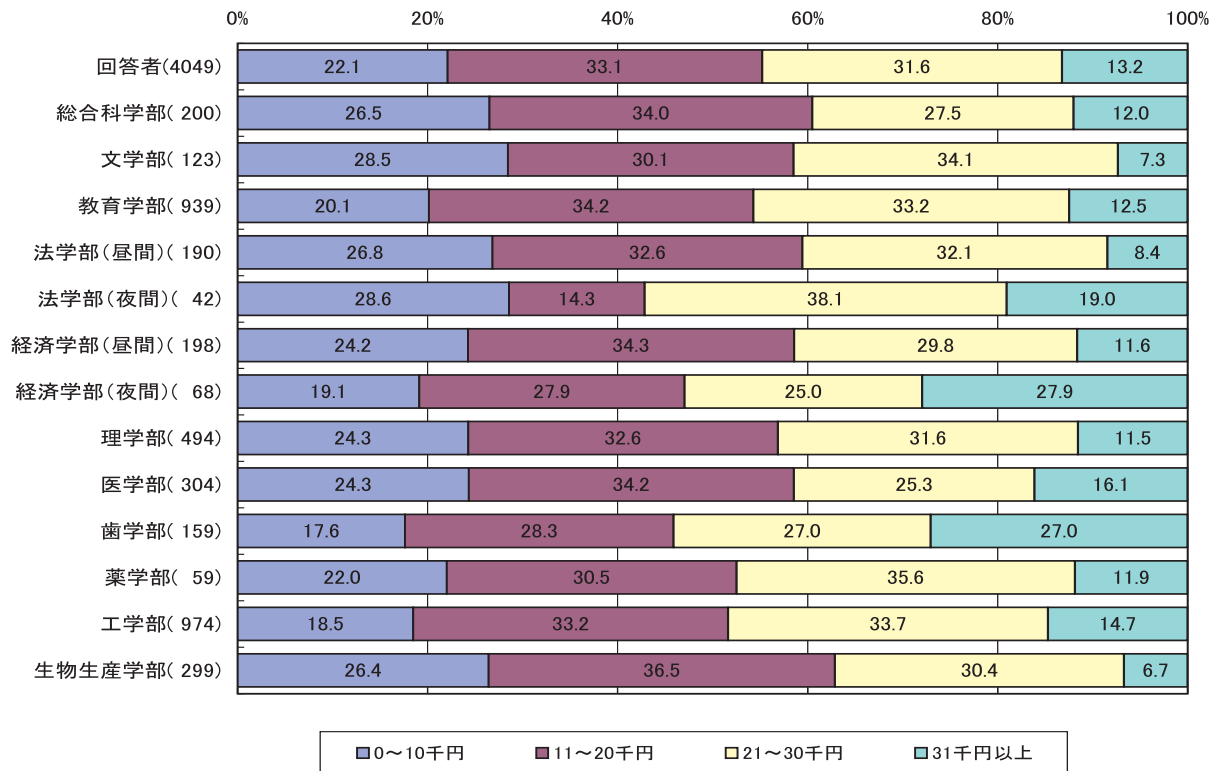
支出 月額



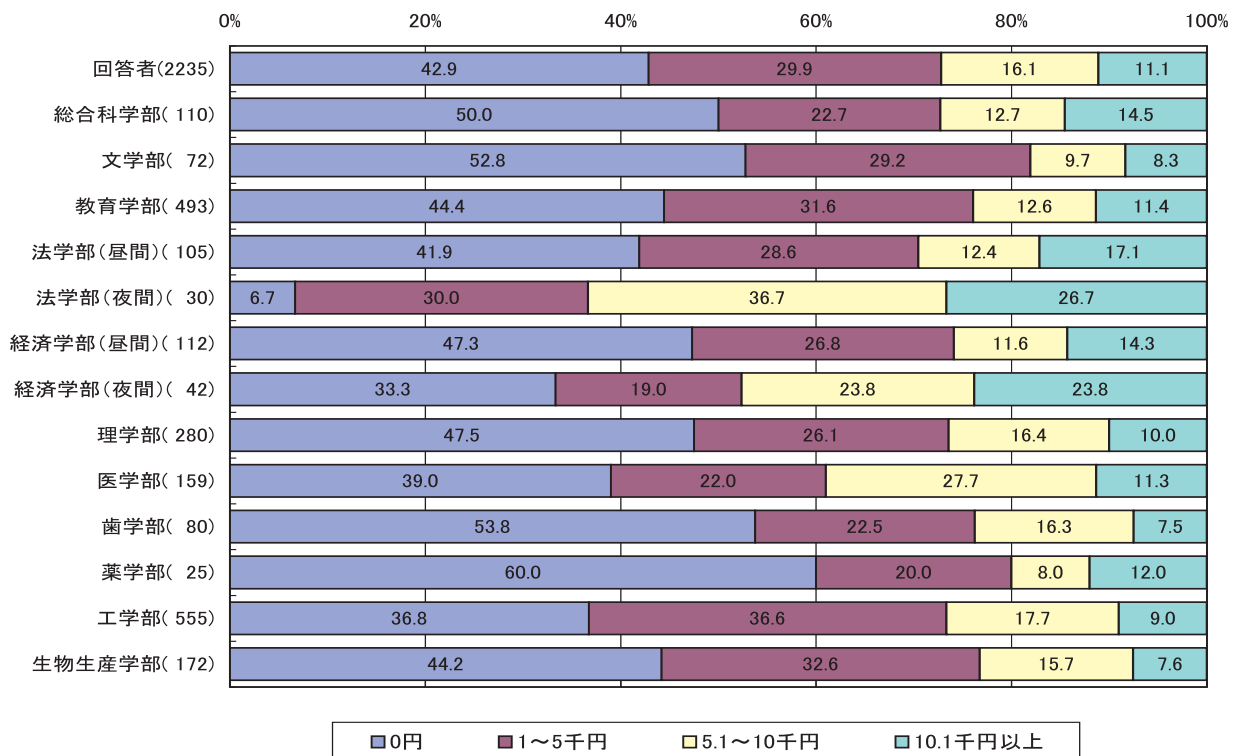
① 家賃・光熱水料



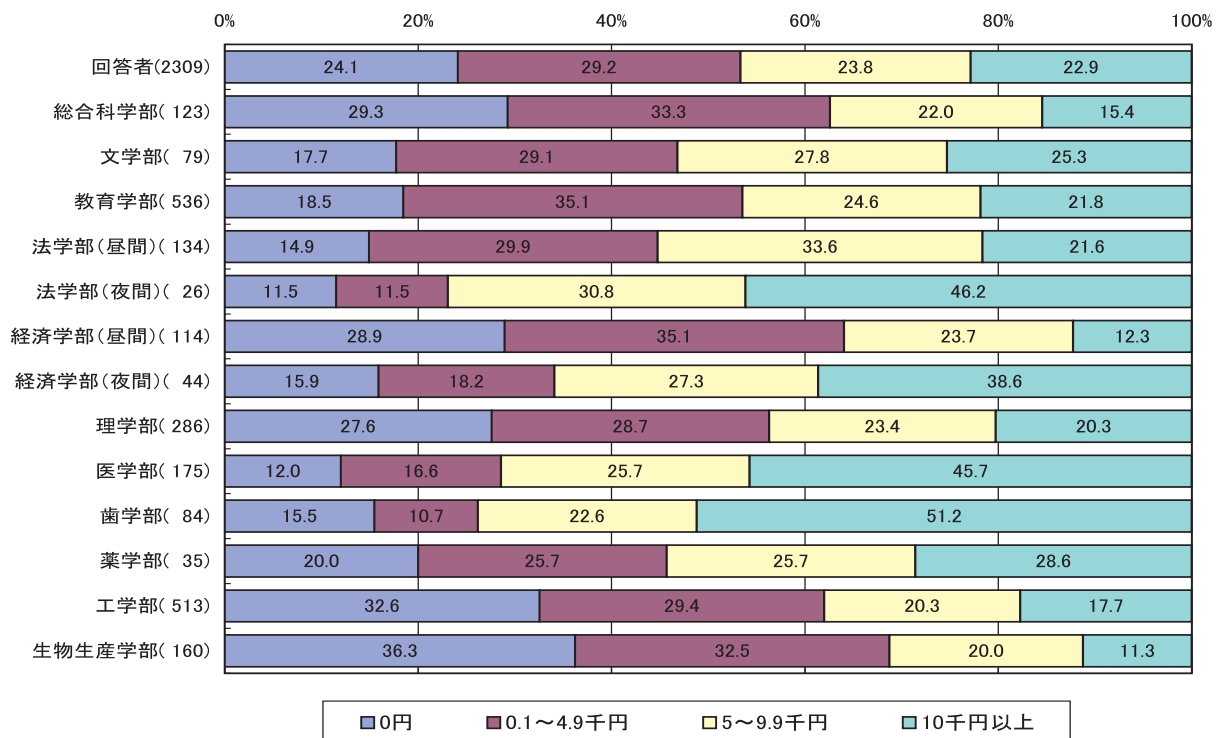
② 食費・外食費



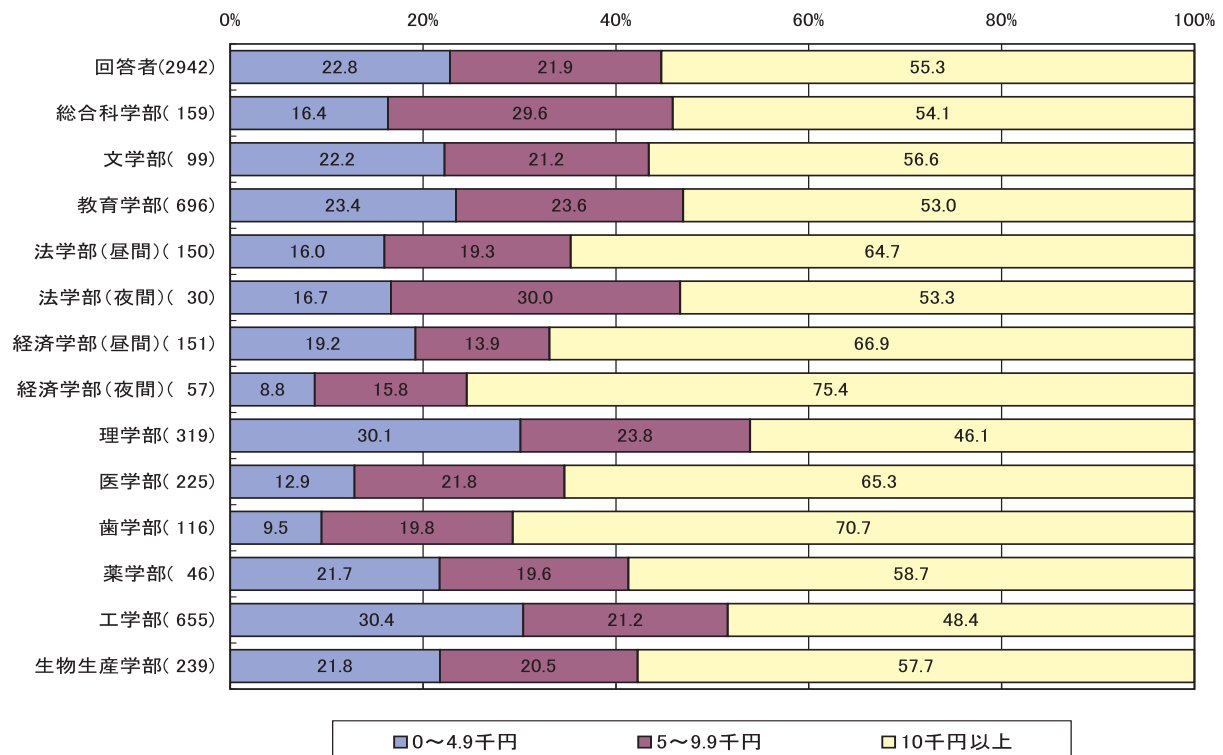
③ 通学交通費



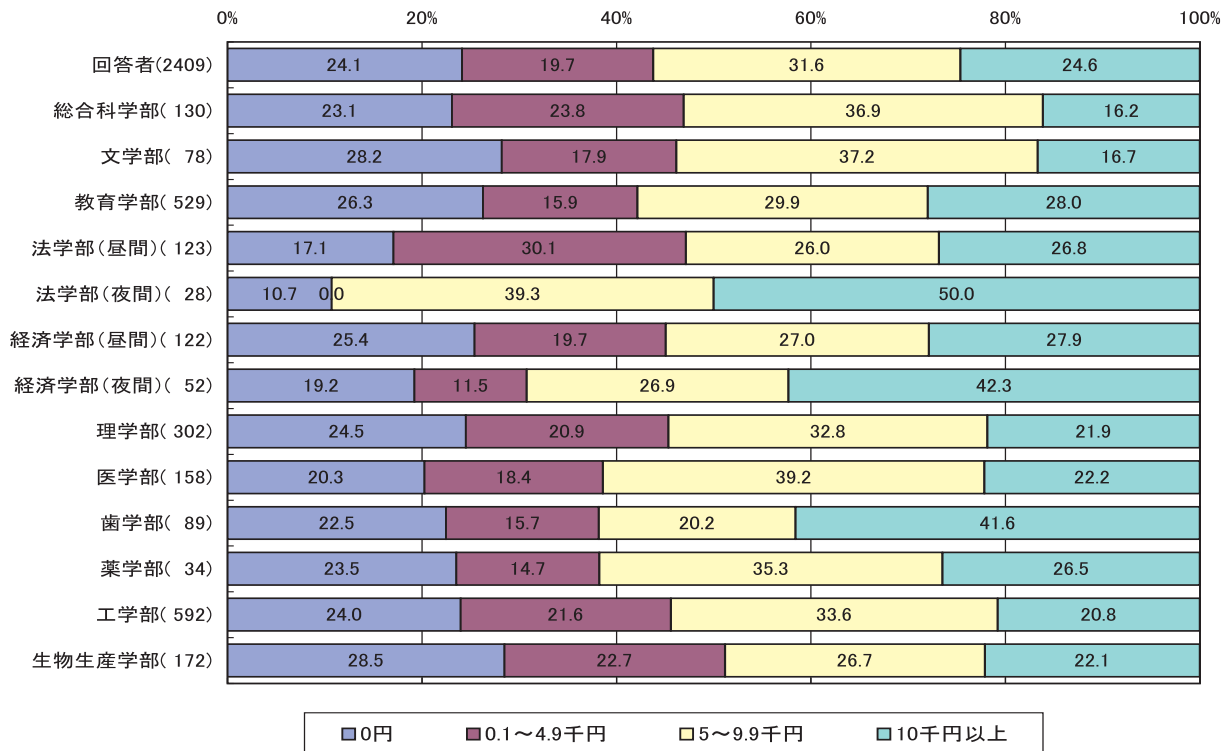
④ 教材・図書費



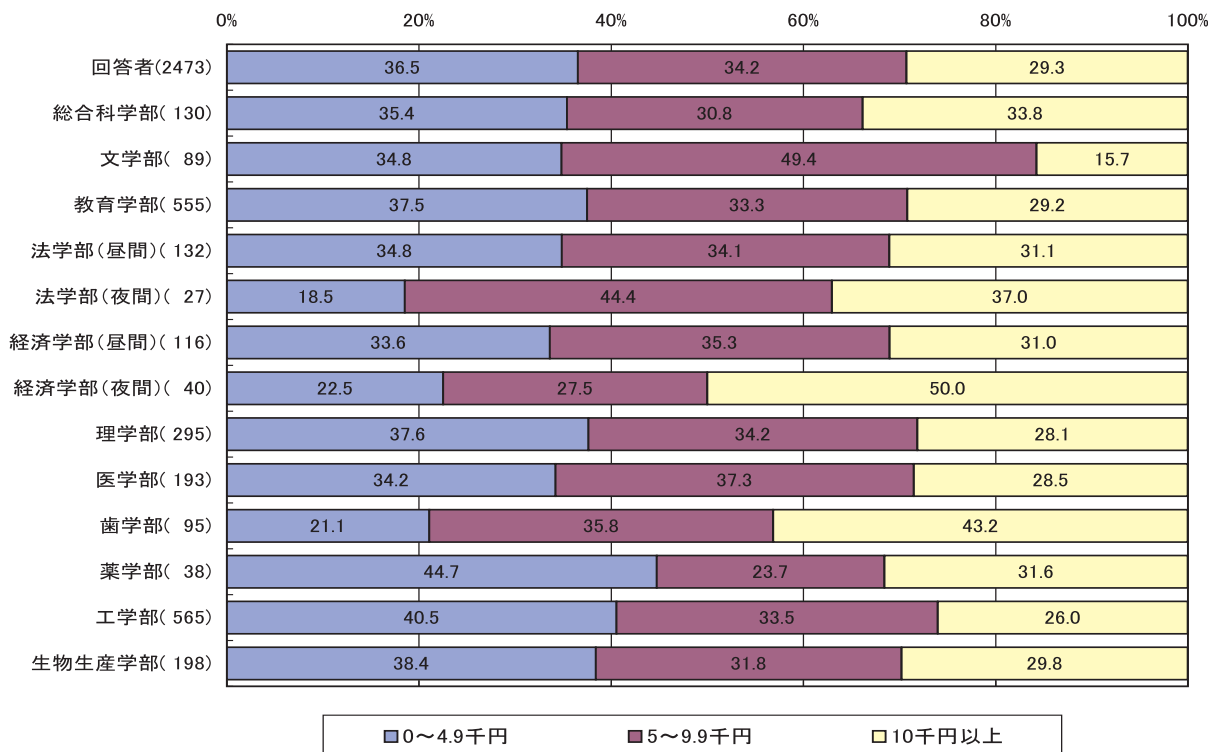
⑤ 被服・服飾・美容費



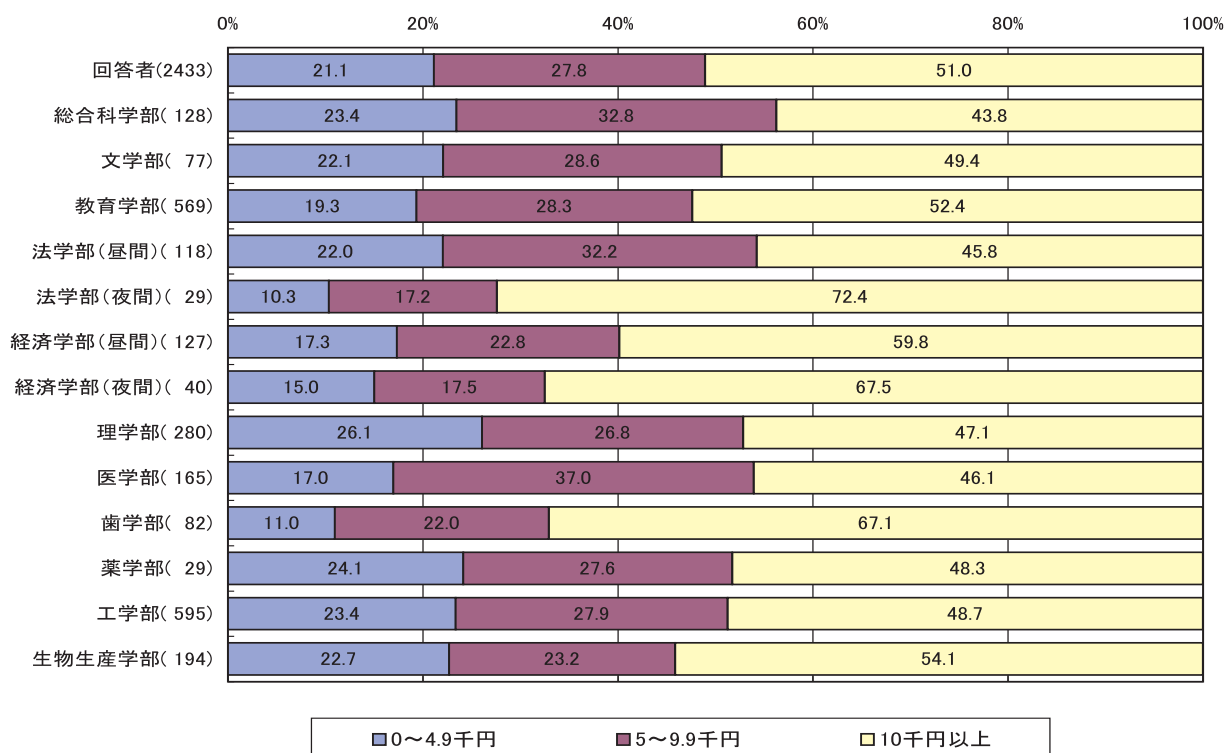
⑥ 通信・電話費



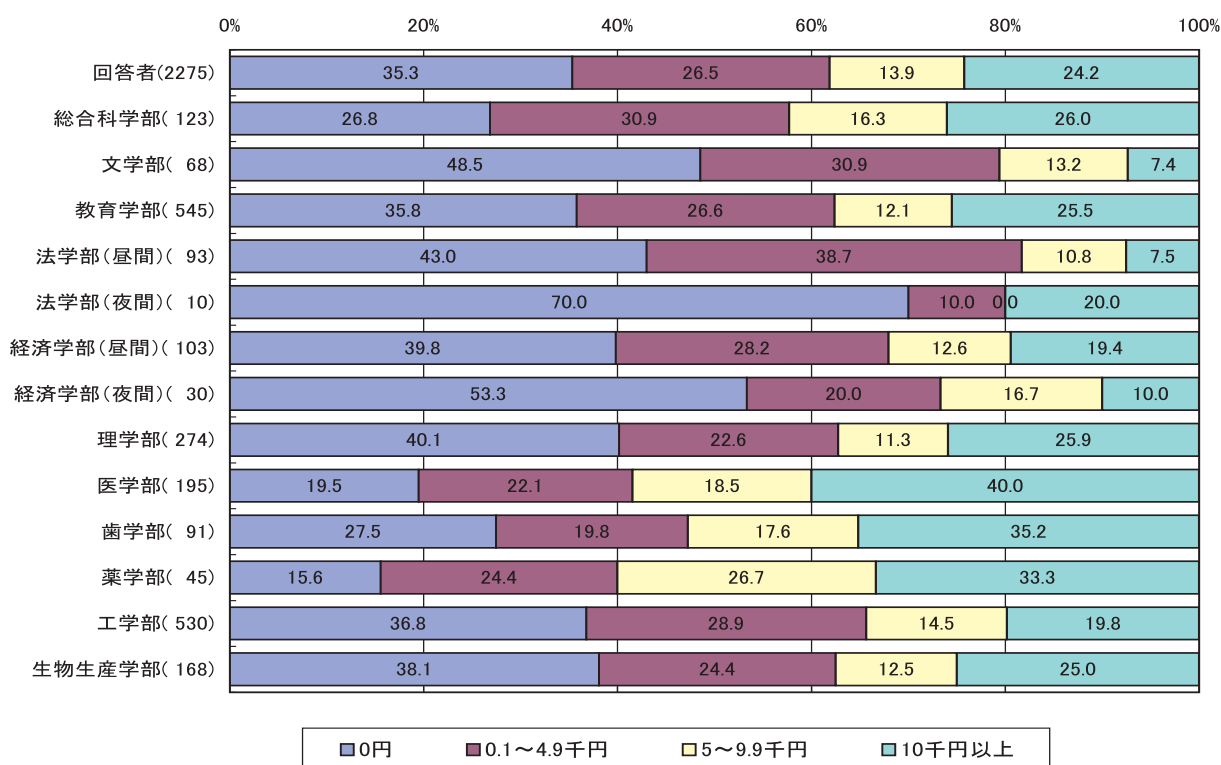
⑦ 日用品・雑費



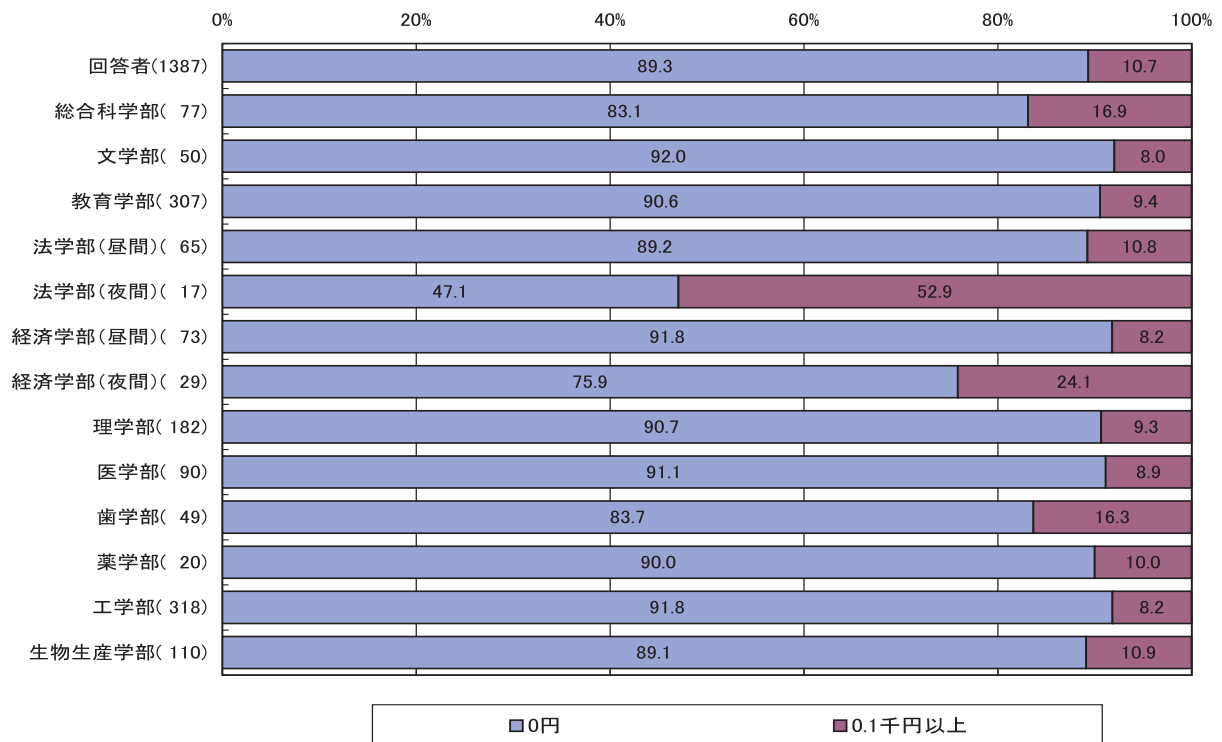
⑧ 教養・娯楽費



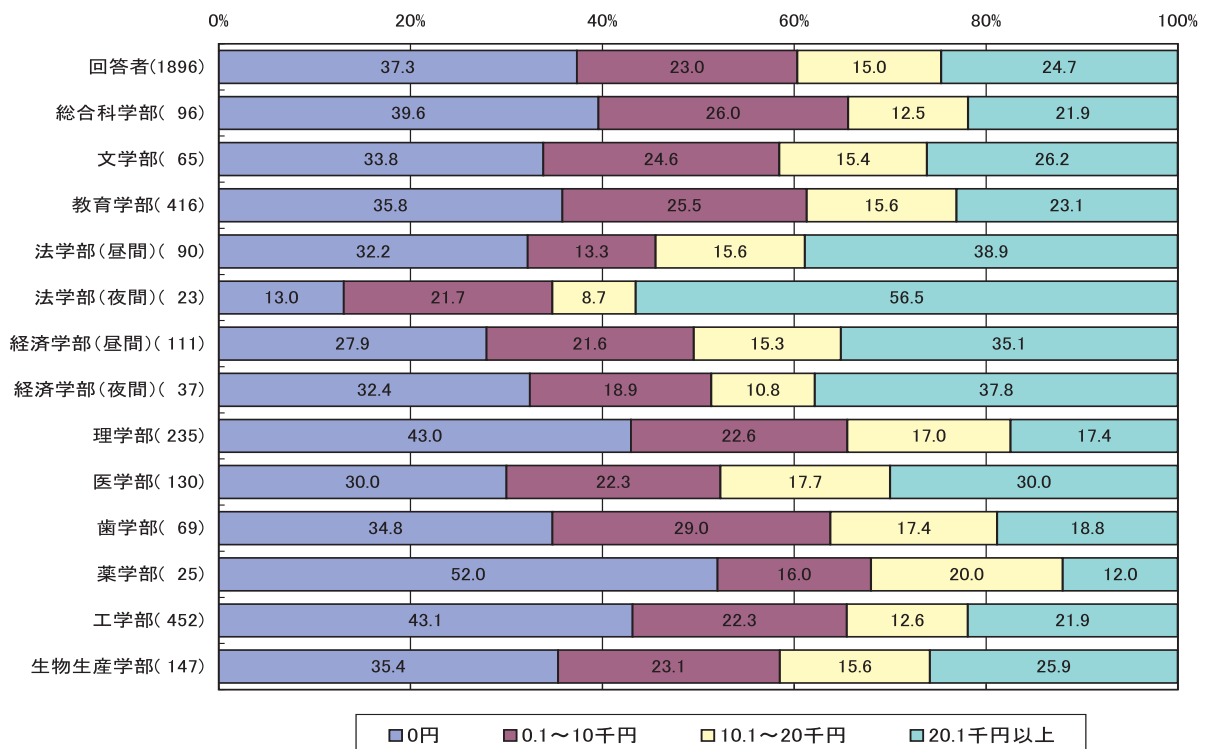
⑨ クラブ・サークル



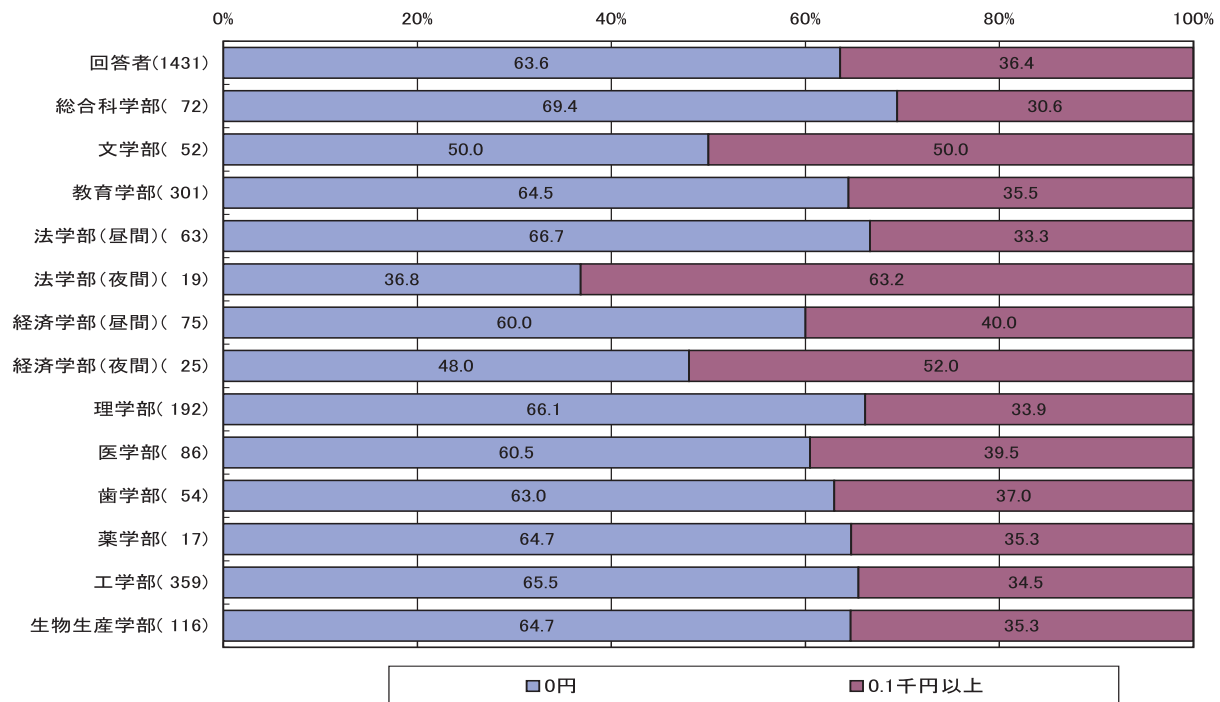
⑩ ローン等の返済金



⑪ 貯蓄



⑫ その他



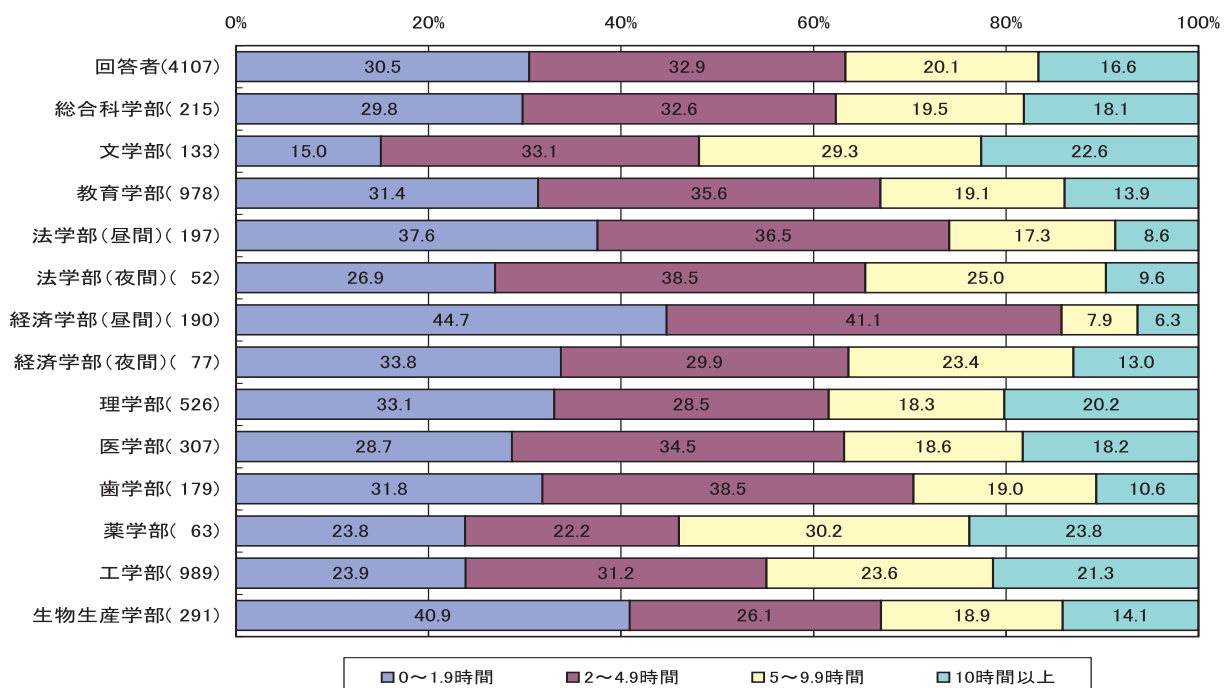
問6 1週間の学習時間

授業やゼミの予習・復習に充てる時間は5.0時間、授業や研究以外の学習に充てる時間は1.8時間、資格取得や語学の学習に充てる時間は1.1時間となっている。これら学習時間を全て足し合わせると週平均7.9時間であり、1日あたりに換算すると1時間弱しか学習に充てていないことになる。

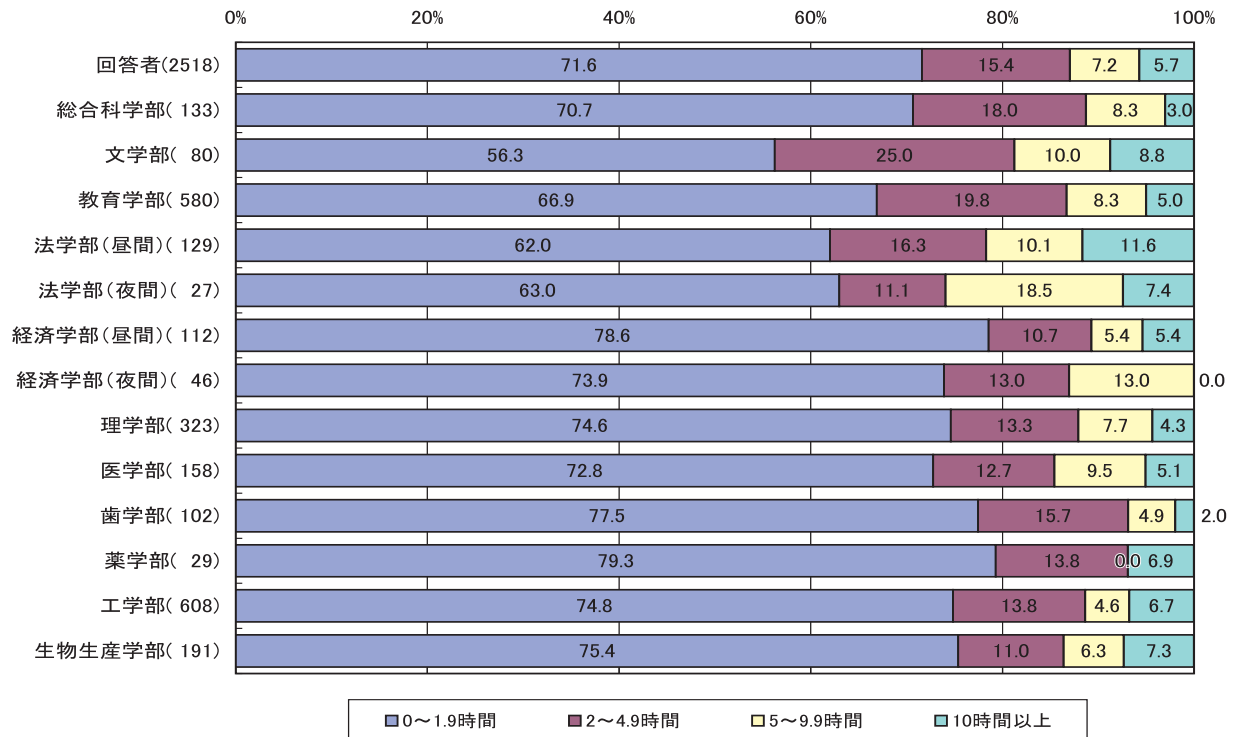
学部別にみると、授業やゼミの予習・復習に充てる時間は、文学部(6.6時間)、工学部(6.2時間)、薬学部(6.0時間)の順に多い。授業や研究以外の学習に充てている時間は、法学部(2.9時間)、法学部夜間主コース(2.8時間)、文学部(2.5時間)の順に多い。資格取得や語学の学習に充てる時間は、法学部夜間主コース(2.4時間)、経済学部夜間主(2.1時間)、経済学部(2.0時間)、法学部(2.0時間)の順になっている。

問6 あなたは1週間を平均して、どれくらいの時間を学習にあてていますか

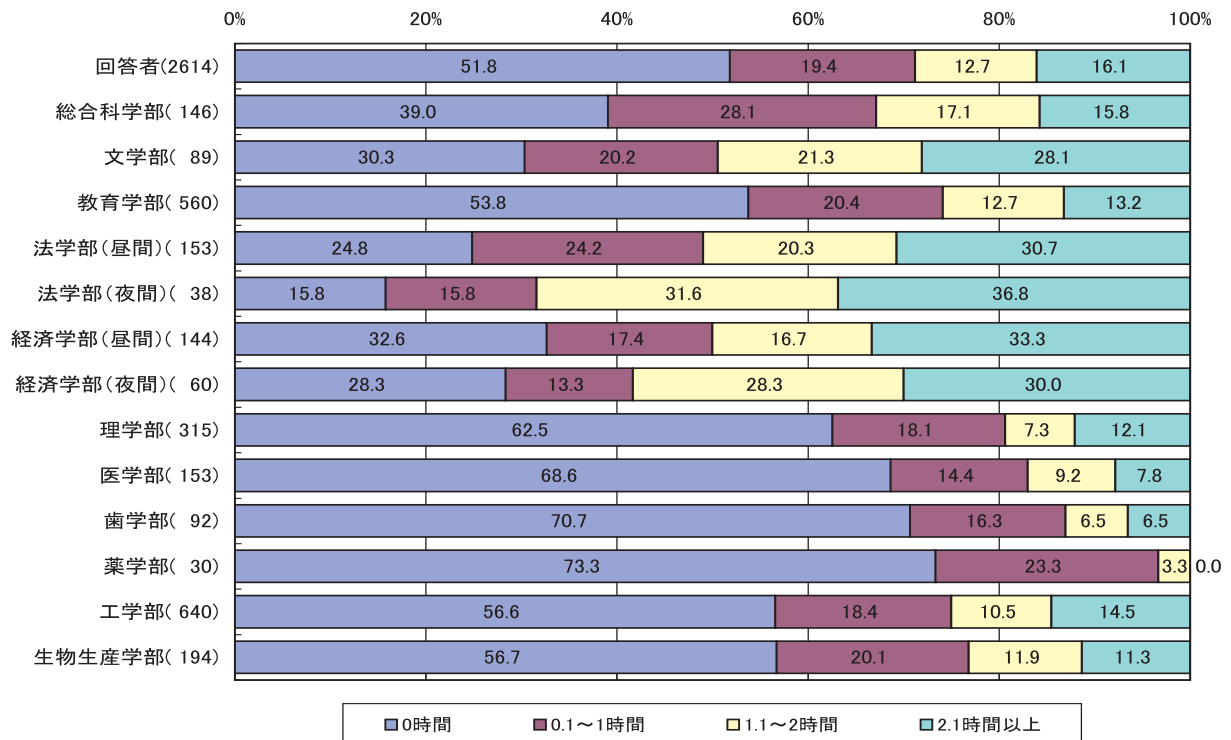
① 授業やゼミの予習、復習



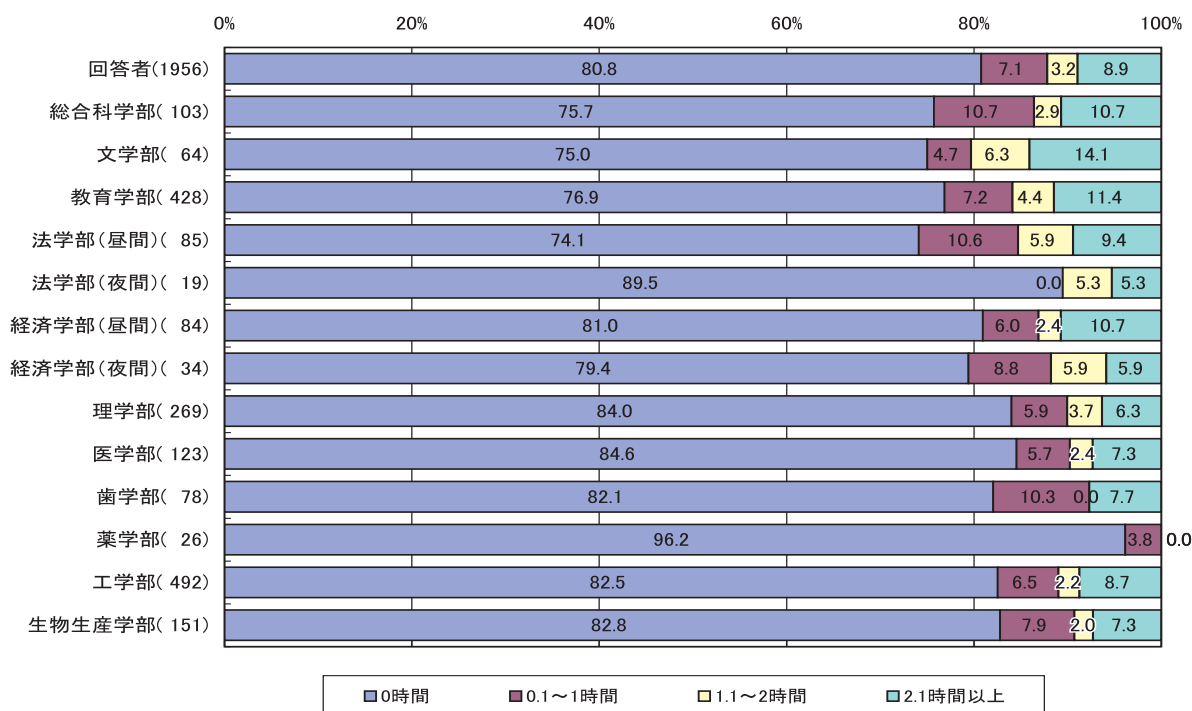
② 授業や研究以外の学習



③ 資格取得や語学の学習



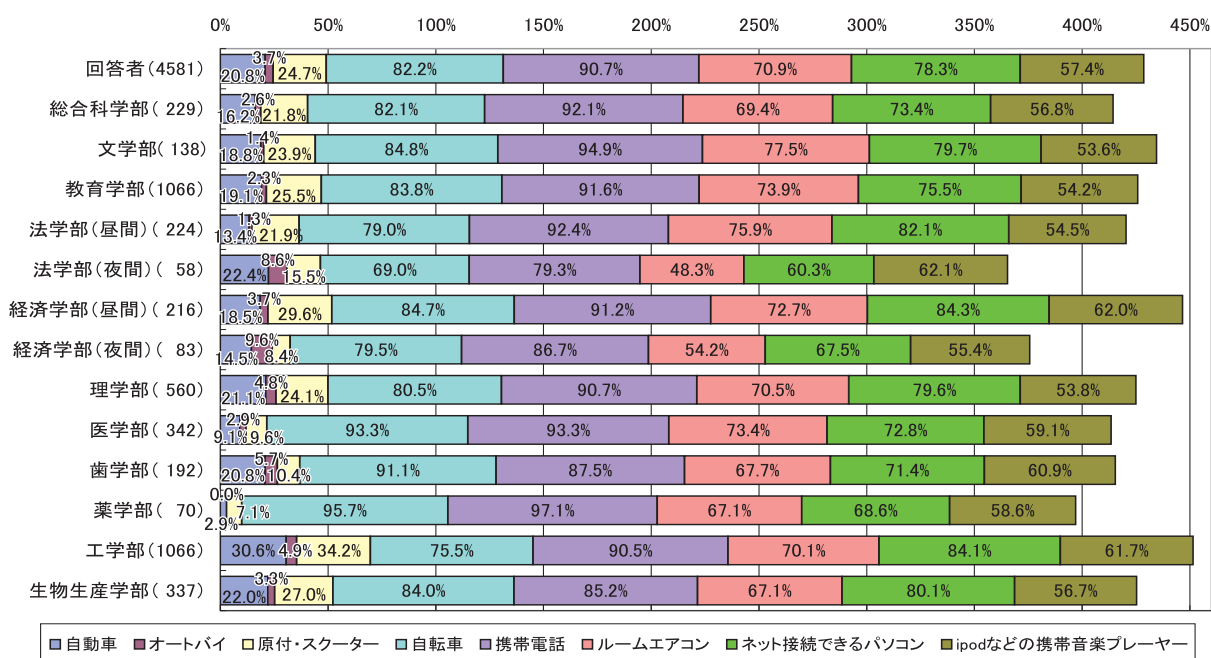
④ そのほか



問7 所有あるいは占有している物

携帯電話は91%、自転車は82%、パソコンは78%が所有しており、入居時に付帯しているケースが多いと思われるが、ルームエアコンも71%が所有している。また携帯音楽プレーヤーも57%が所有している。自動車、原付・スクーターの所有はそれぞれ21%、25%だった。なお、パソコンや携帯の普及によりこれらを通じた学生サービスもさらに普及していくだろうが、少数でも所有していない者に対する配慮も必要になってくる。

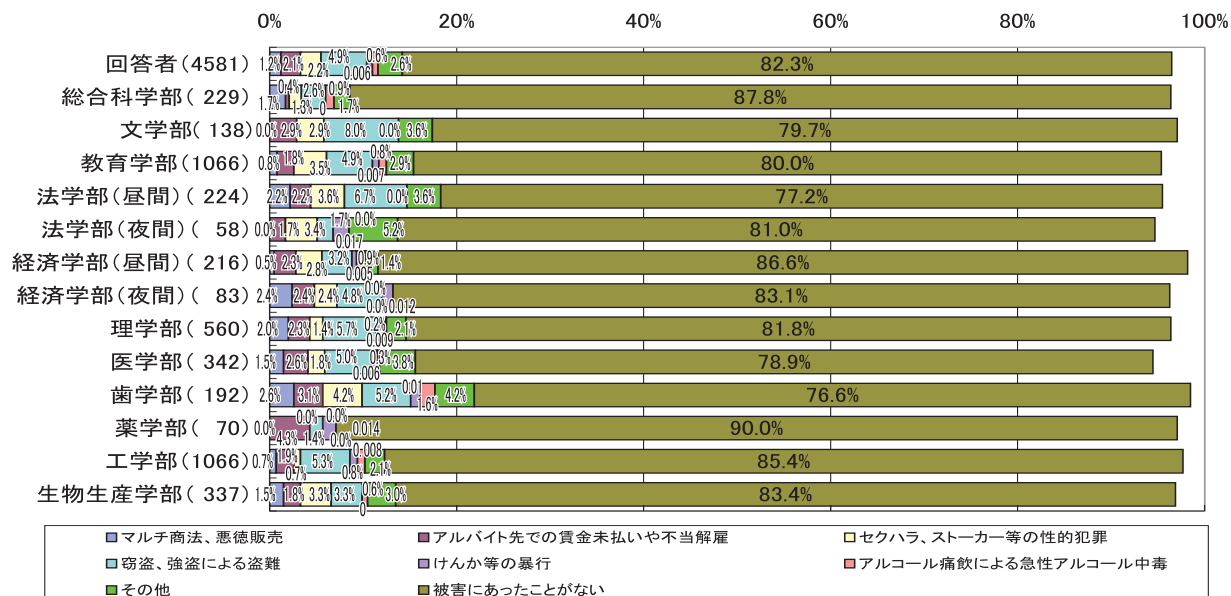
問7 あなたの所有もしくはあなた専用に近い物があれば○をつけてください。(複数回答可)



問8 犯罪やトラブルなどの被害経験

犯罪やトラブルなど、何らかの被害にあったことがある者は18%で、10人に2人程度が何らかの被害を経験している。割合として高いのは窃盗・強盗による盗難の5%で、アルバイト先での賃金未払いや不当解雇、セクハラ・ストーカー等の性的犯罪もそれぞれ2%が経験している。何れも値は数パーセントにとどまるものの、人数的には盗難被害は200人を越え、アルバイト先でのトラブルや、性的犯罪も100人前後とかなりの数にのぼる。

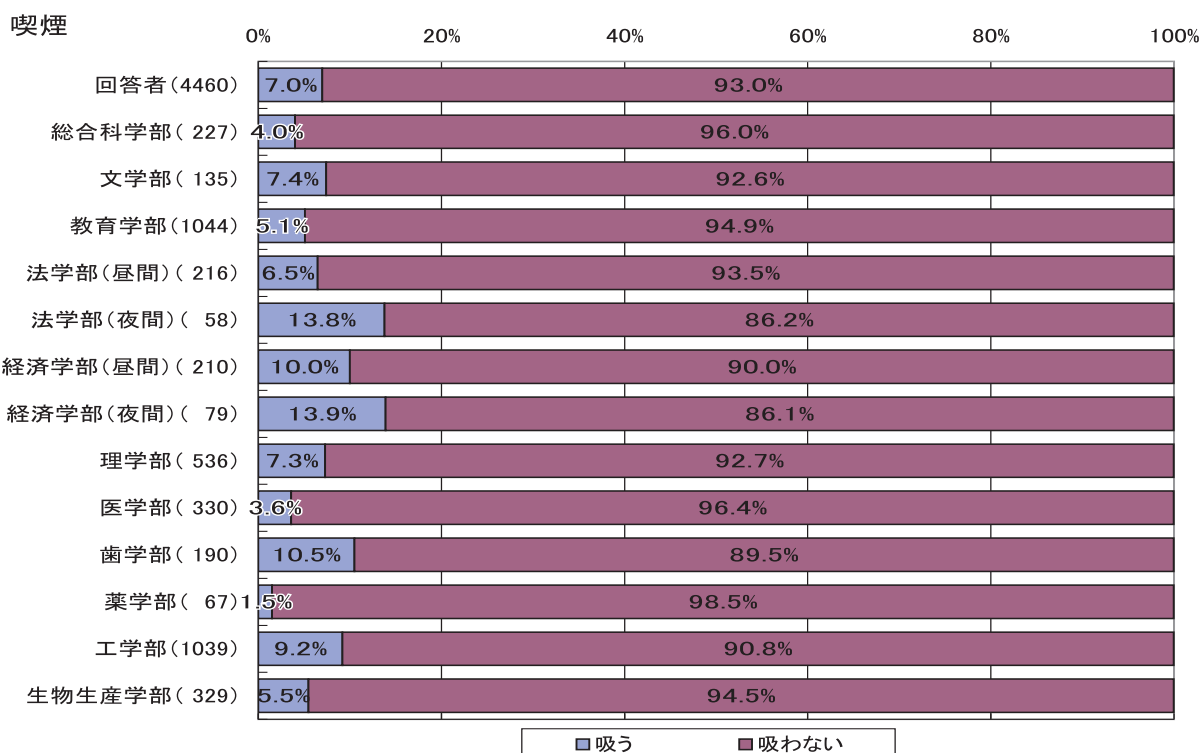
問8 あなたは入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。(複数回答可)



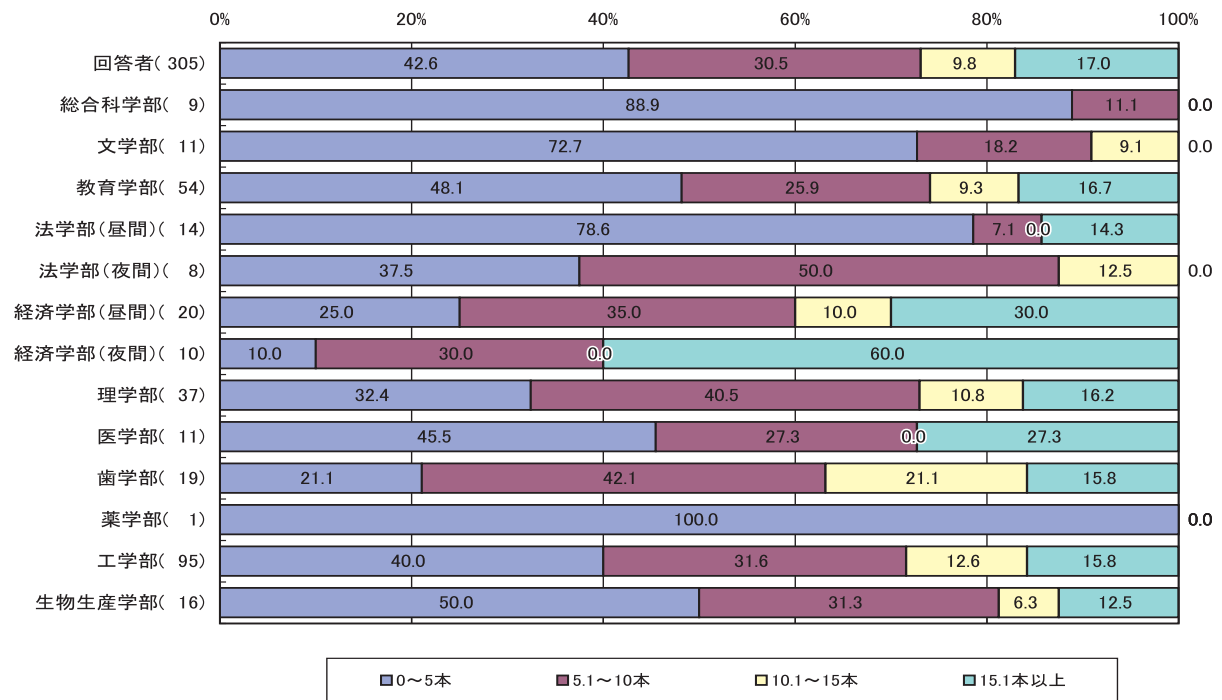
問9 喫煙及び飲酒の習慣

喫煙の習慣がある者は7%、飲酒の習慣がある者は34%である。喫煙の習慣がある者は1日平均9本程度吸っており、飲酒の習慣がある者は1週平均1.7日程度飲んでいる。

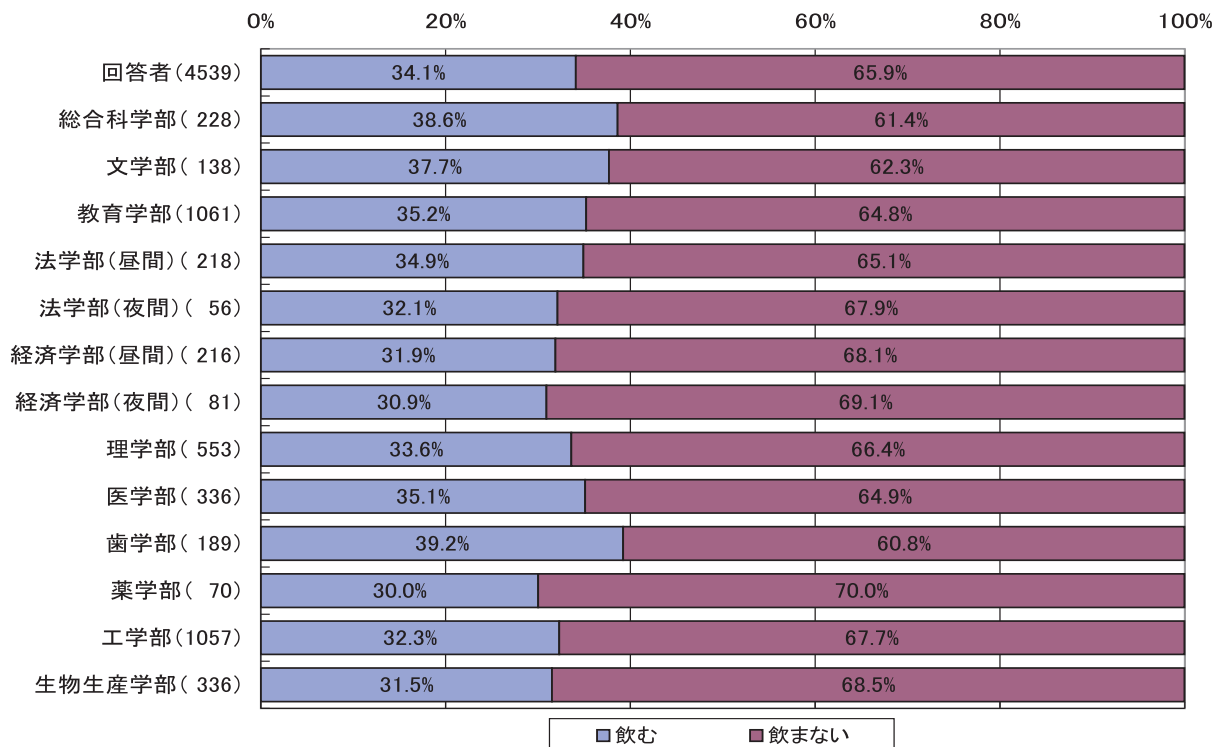
問9 あなたには喫煙及び飲酒の習慣がありますか。



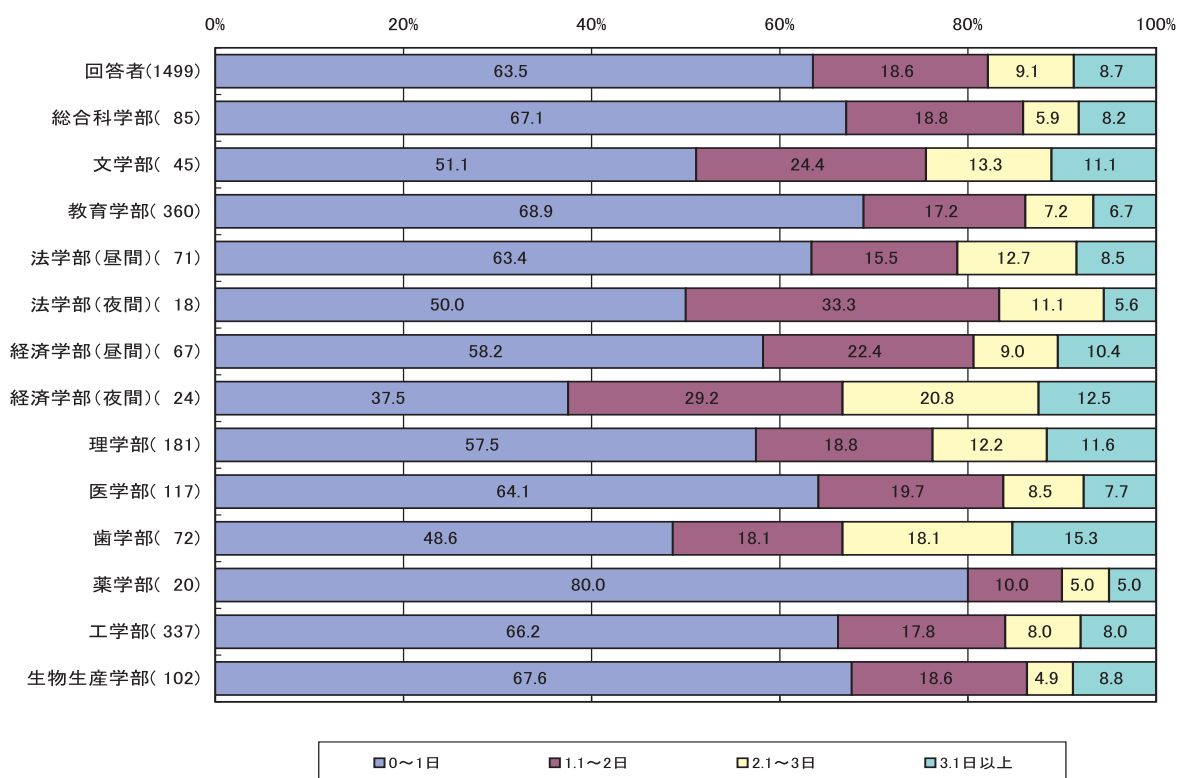
1日に吸うタバコの量



飲酒



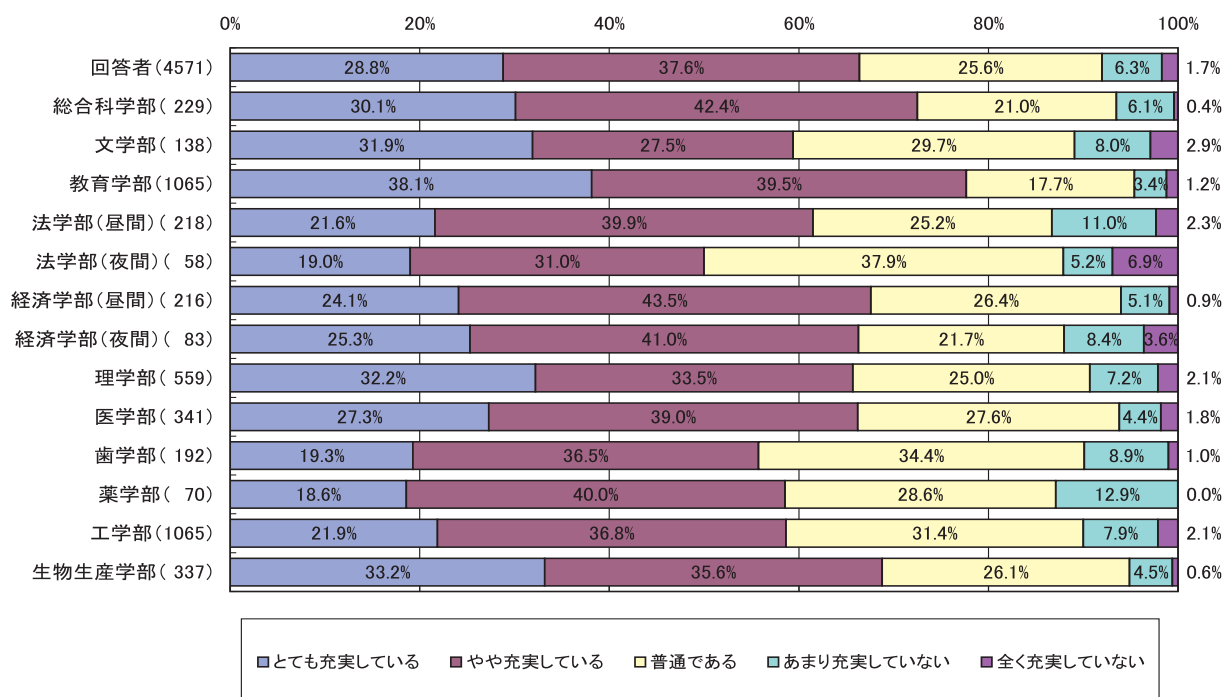
1週間に飲む日数



問10 授業以外の学生生活の充実度

全体では「とても充実している」「やや充実している」を加えると66%と、3人に2人が肯定的にとらえている。なお「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答したのは8%にとどまった。

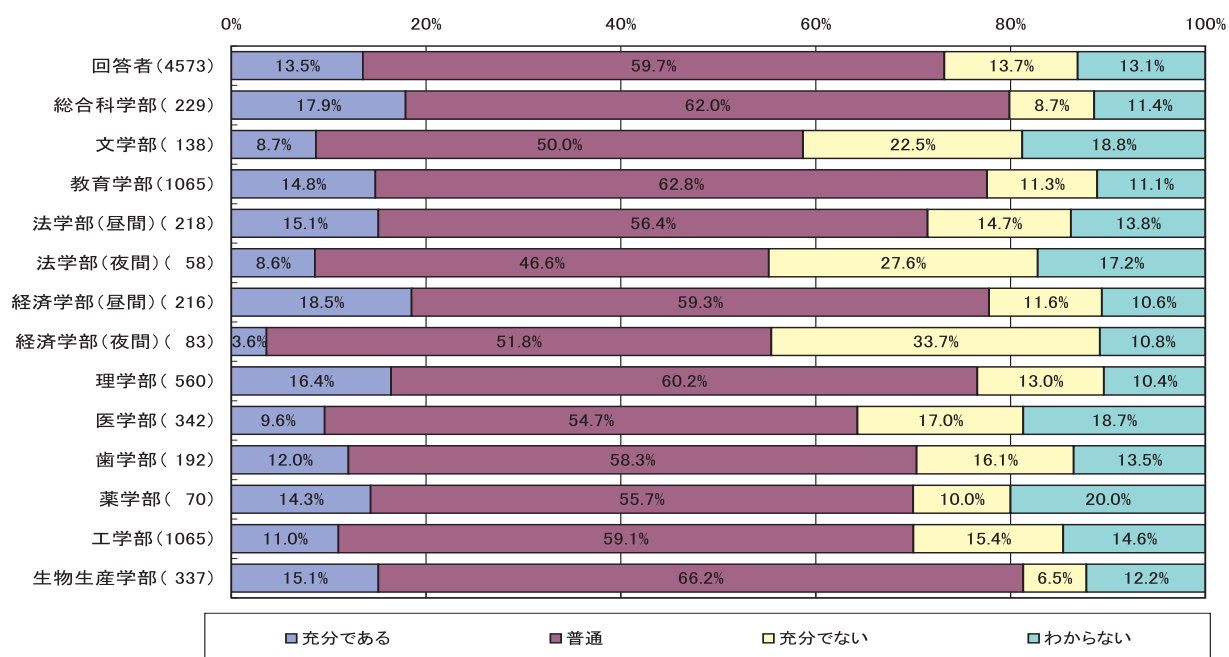
問10 あなたは授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。



問11 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

「充分である」と回答したのは14%だが、「普通」までを含めれば7割を超える。学部別にみると、文学部と夜間主では「充分でない」と回答した割合が20%を越えている。なお「わからない」と回答した者も少なからずいるため、値をそのまま解釈する際には注意が必要である。

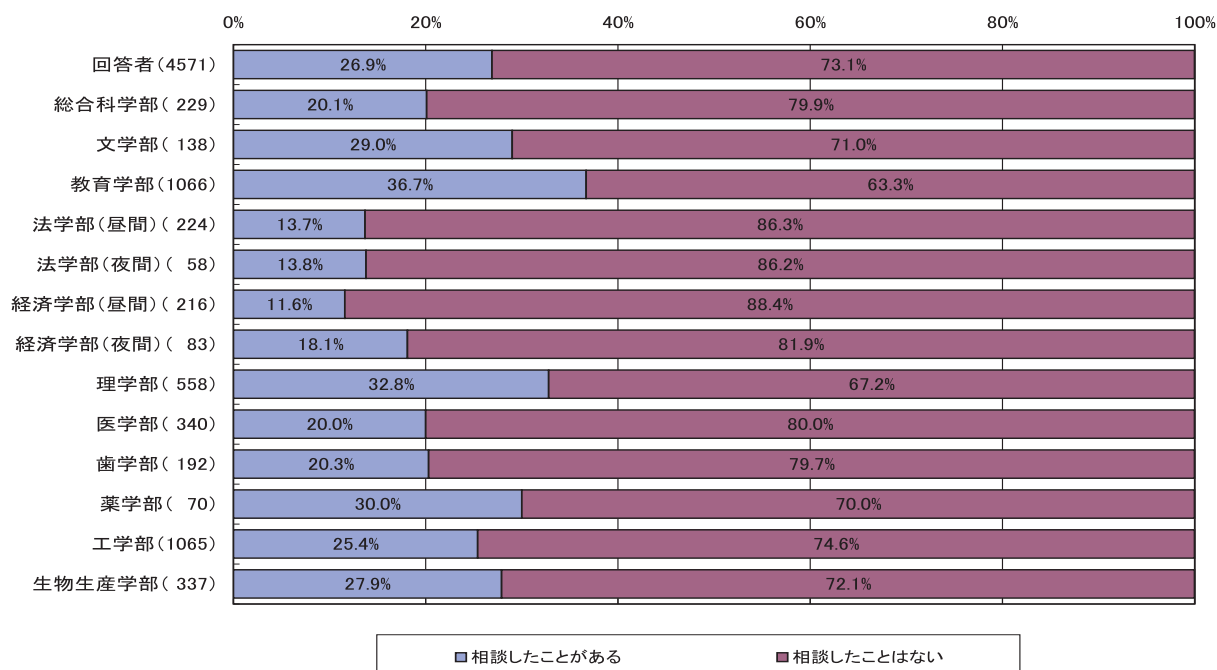
問11 あなたの授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。



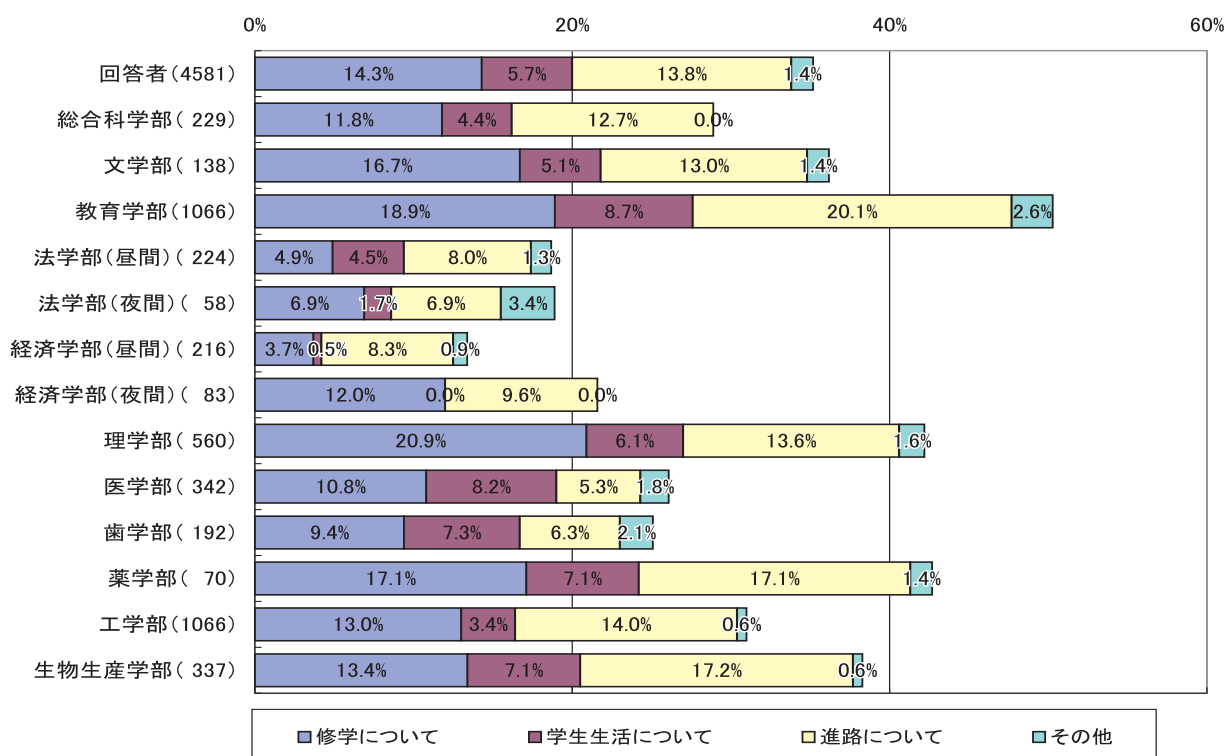
問12 チューターへの相談と相談内容

全体では27%が相談の経験がある。教育学部、理学部、薬学部ではその値が3割を超える一方、法学部、経済学部では1割台となっている。ただし、相談事が多いため頻度も多くなっている可能性もあり、相談頻度自体が特に意味を持つわけではない。なお、相談の内容については、修学や進路に関するものがそれぞれ14%と相対的に多くなっている。

問12 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、あなたはチューターに相談したことがありますか。



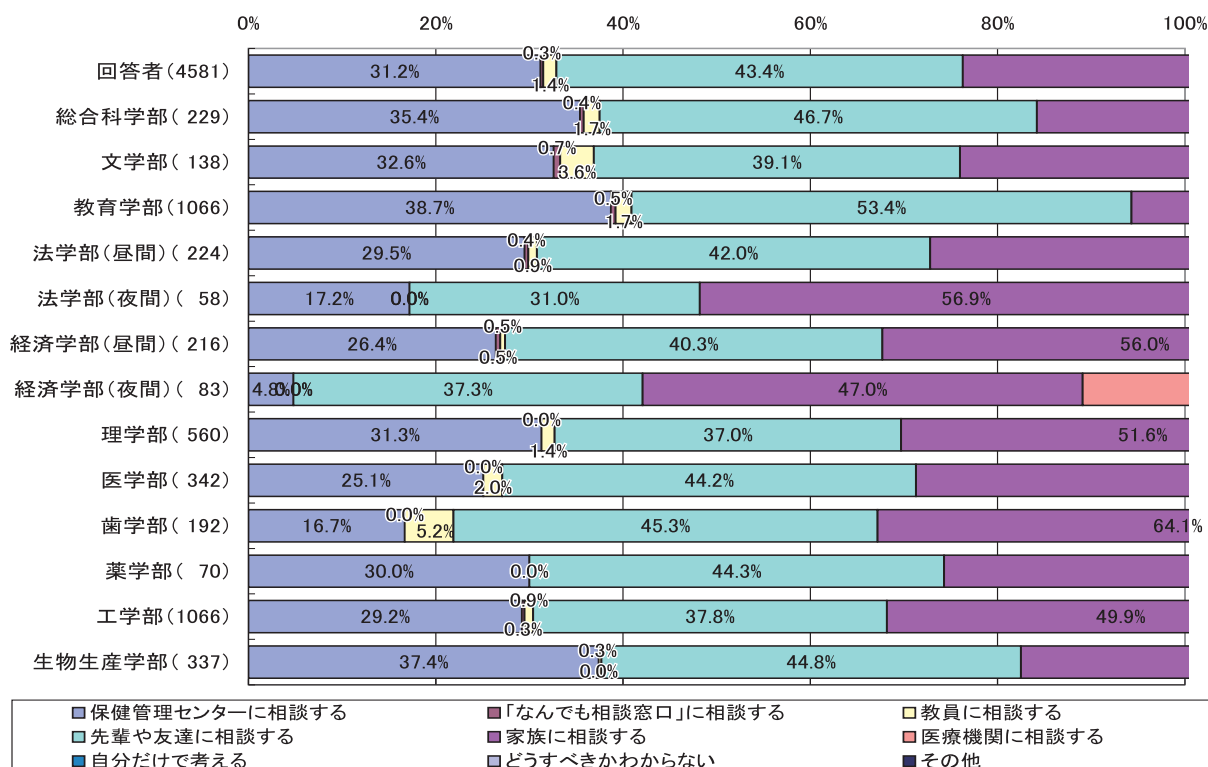
相談したことがあると答えた方に尋ねます、どんな相談内容でしたか。
(複数回答可)



問13 健康面の悩みの解消

家族に相談する場合が57%と最も多く、次いで医療機関に相談するが50%となっている。以下、先輩や友人に相談する43%、保健管理センターに相談する31%、自分だけで考えるが21%と続いている。どうすればよいか分からないと回答した割合は3%にとどまる。

問13 健康面でなにか悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか (複数回答可)

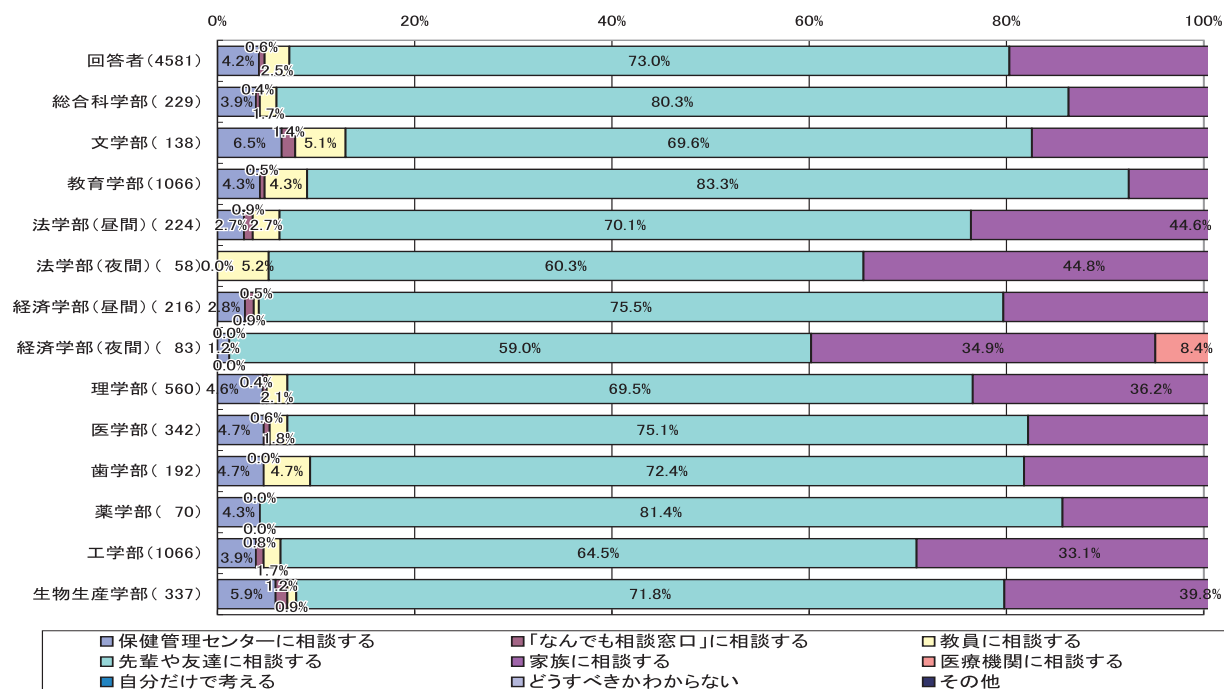


問14 心理面の悩みの解消

先輩や友人に相談する場合が73%と最も多く、次に家族に相談する場合が42%、自分だけで考えるが40%となっている。他者に相談するケースは何れも10%未満と多くない。

心理面の悩みの相談については、自力で解決するか、そうでない場合には友人や家族などの存在が非常に大きくなっている。ただし、どうすればよいか分からないと回答した割合は4%にとどまった。

問14 心理面でなにか悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか（複数回答可）

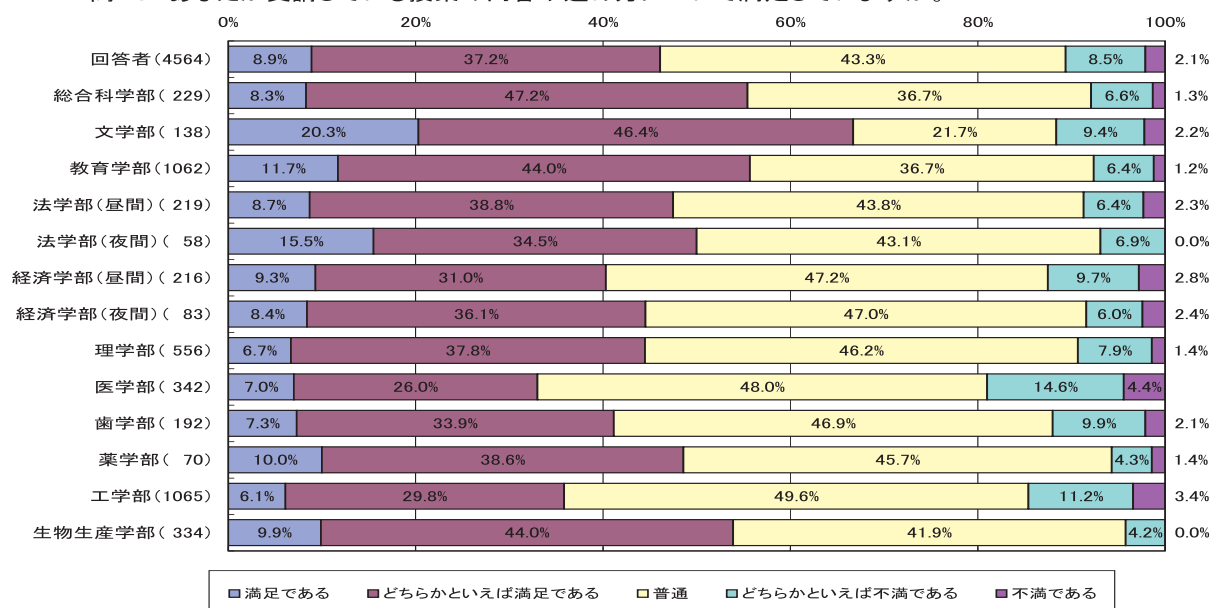


問15 授業の内容や進め方

「満足である」は9%で、「どちらかといえば満足である」を加えると、46%が肯定的にとらえている。また「普通」が43%と最も多く、「どちらかといえば不満である」「不満である」は11%にとどまる。

ただしこの問いは、個々の授業に対する評価ではないため、満足しているからといって多くの科目に満足しているとは限らないし、逆に満足していないからといって多くの科目に不満があるとも限らない。

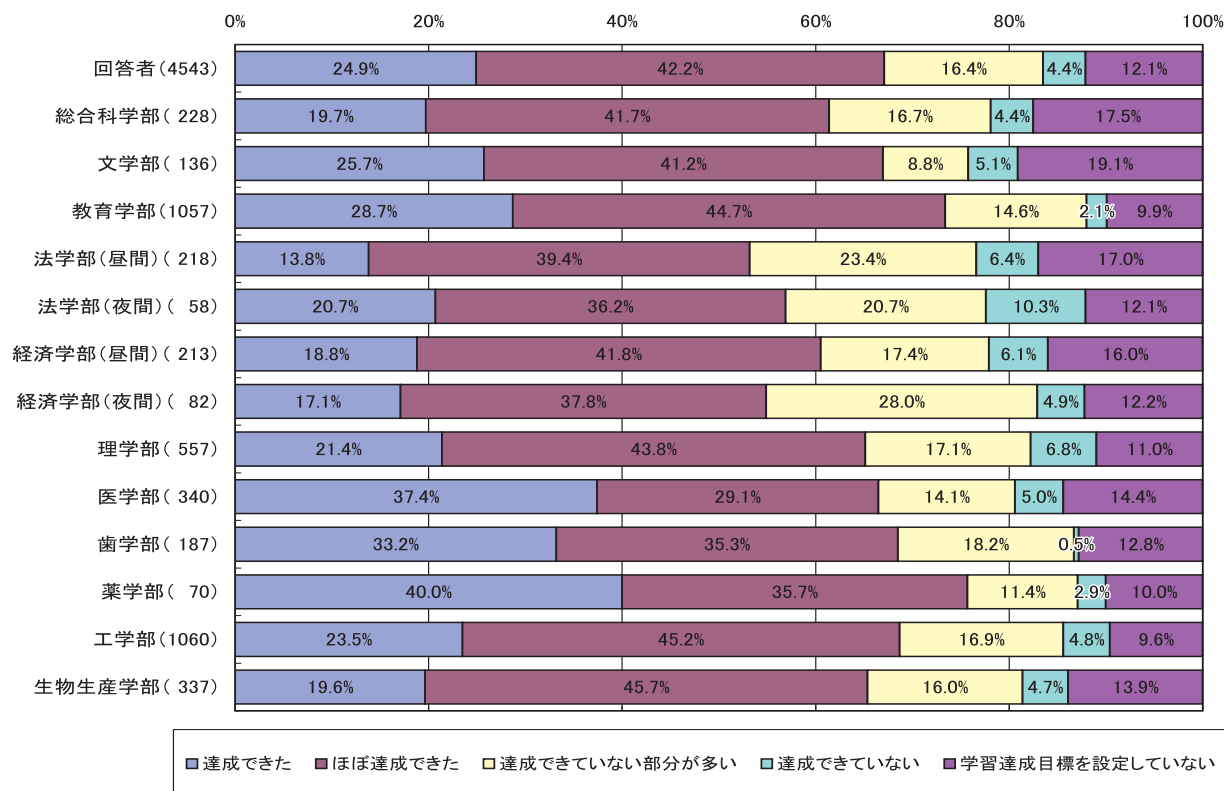
問15 あなたが受講している授業の内容や進め方について満足していますか。



問16 学習達成目標の達成度

「達成できた」が25%で、「ほぼ達成できた」を加えると67%が肯定的にとらえている。ただし「達成できてない」「学習達成目標を設定していない」という者も17%存在している。学び方には個人差もあるため、今後は成績等他の情報も加味しながら、総合的に判断していく必要がある。

問16 19年度に自身で設定した「学習達成目標」を達成できましたか。
(20年度入学生は、今年の前期と読み替えてください)



問17 大学の窓口や学生サービス担当に対する印象や満足度

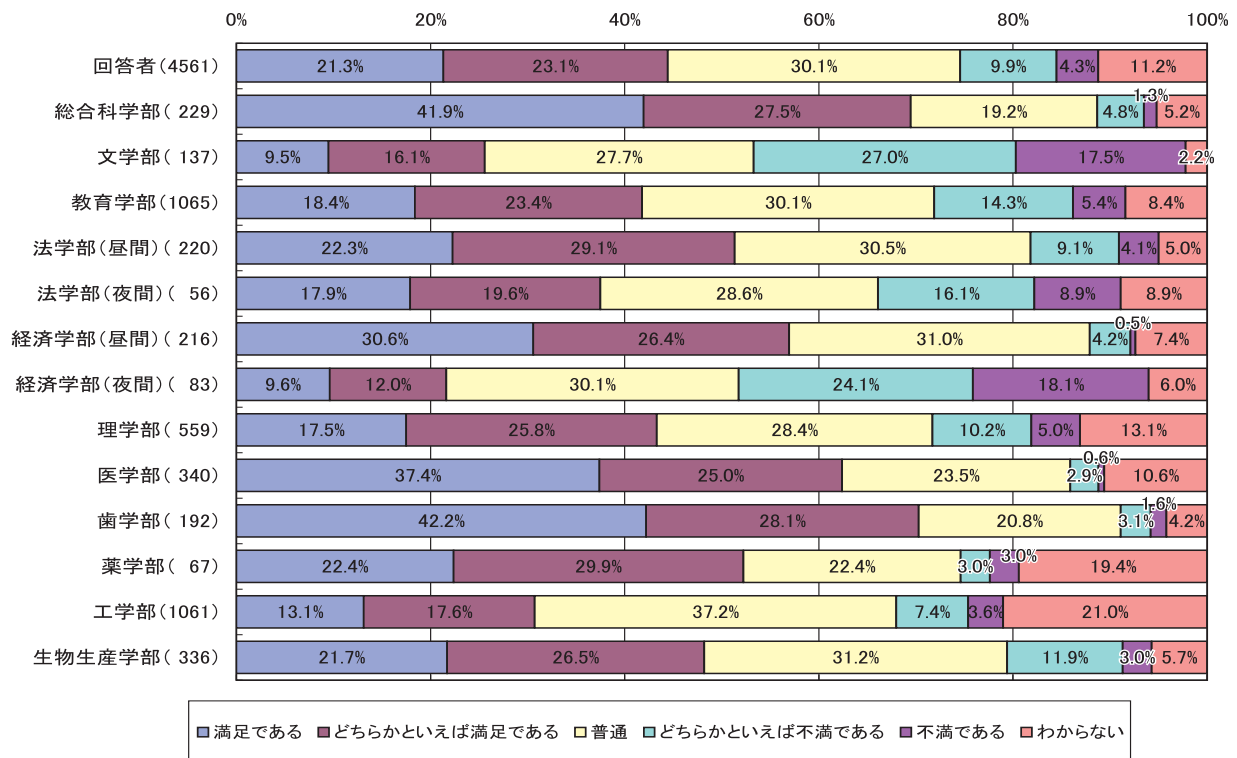
「利用したことがないのでわからない」を除くと、「満足である」「どちらかといえば満足である」の割合は、所属学部の学生支援室の対応は50%、法人本部棟2階の学生支援部門の対応は44%、キャリアセンターの対応は42%、学科・課程・類の就職対応は36%、図書館窓口の対応は58%、入学センターの対応は36%、保健管理センター（メンタルヘルス・カウンセラー）の対応は61%、保健管理センター（健康診断等）の対応は61%だった。

また、「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した割合は何れも低いですが、所属学部の学生支援室の対応は16%、法人本部棟2階の学生支援部門の対応は7%、キャリアセンターの対応は6%、学科・課程・類の就職対応は14%、図書館窓口の対応は4%、入学センターの対応は5%、保健管理センター（メンタルヘルス・カウンセラー）の対応は6%、保健管理センター（健康診断等）の対応は5%だった。

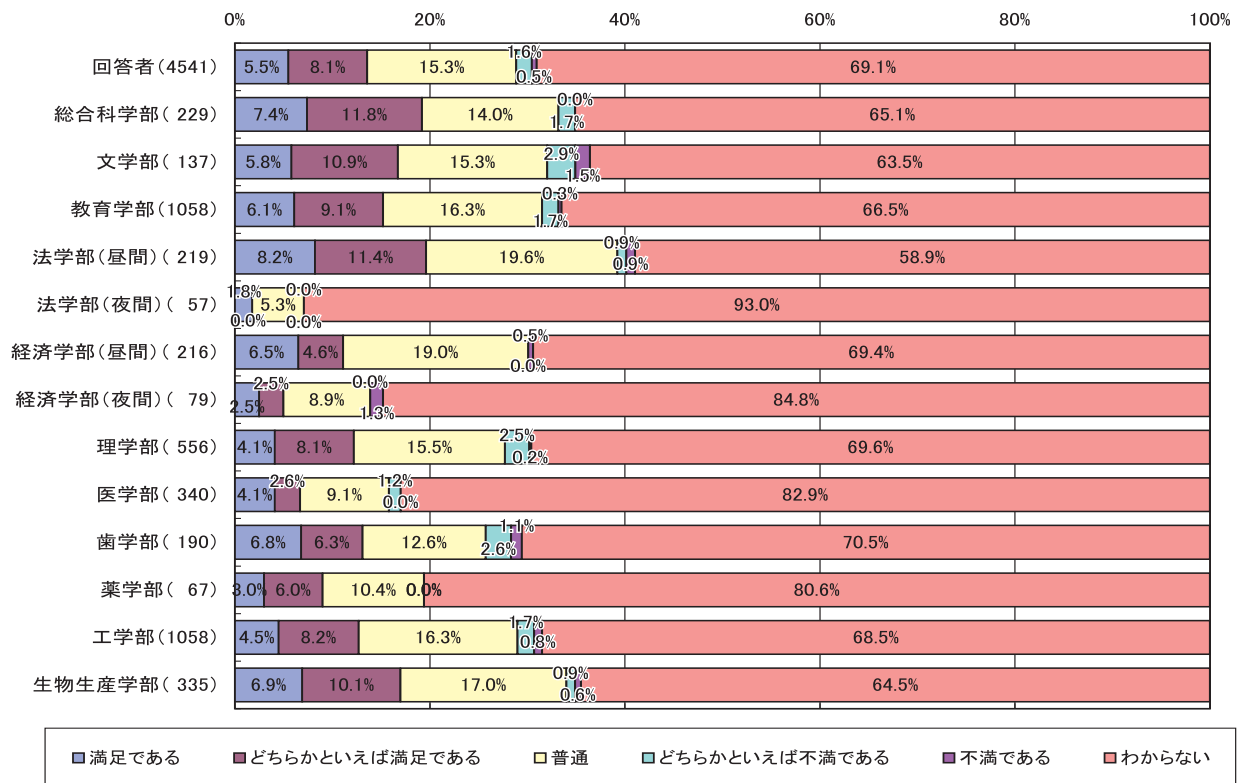
なお不満の発生は、多様なサービス項目の中で日常の接触頻度が低く、学生にとって苦い内容であると生じやすくなるので、数値のみでの単純な解釈には留意が必要である。

問17 つぎの窓口や学生サービス担当について、あなたの印象や満足度を教えてください。

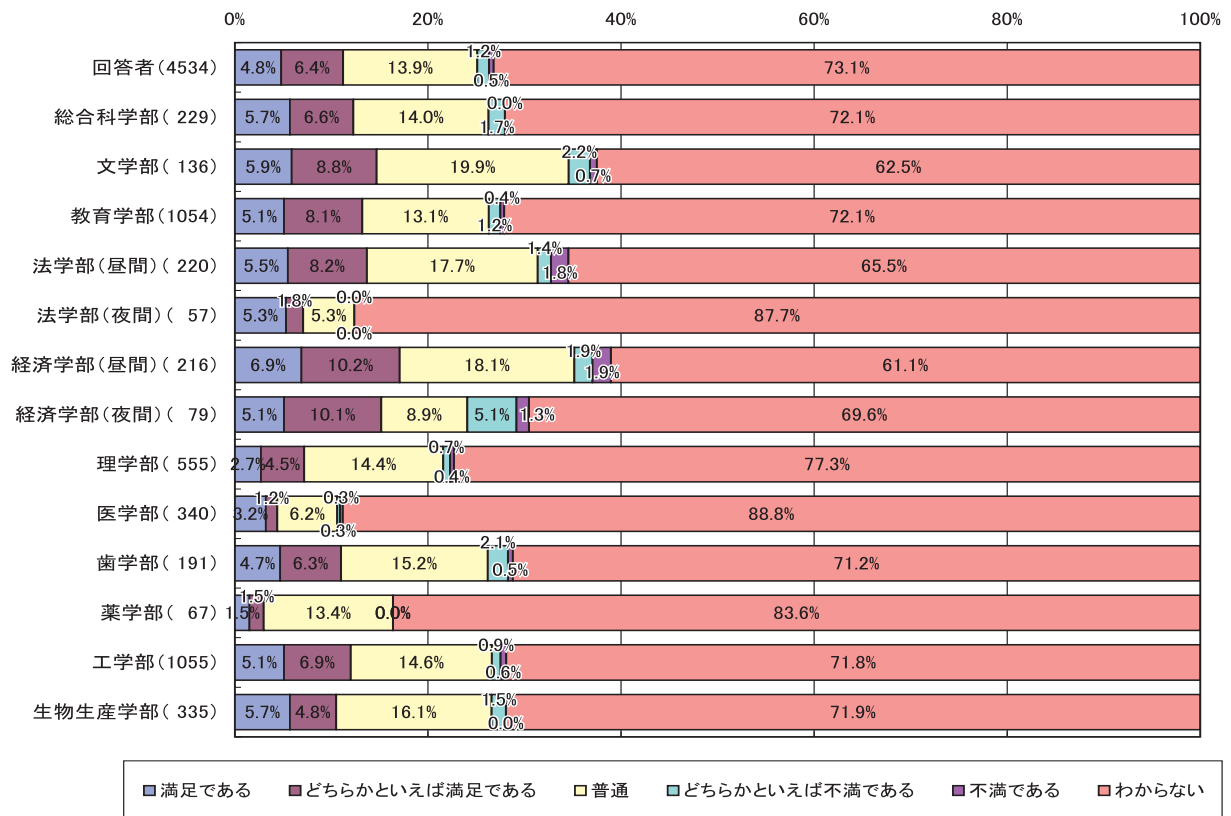
①所属学部(の学生支援室)の対応



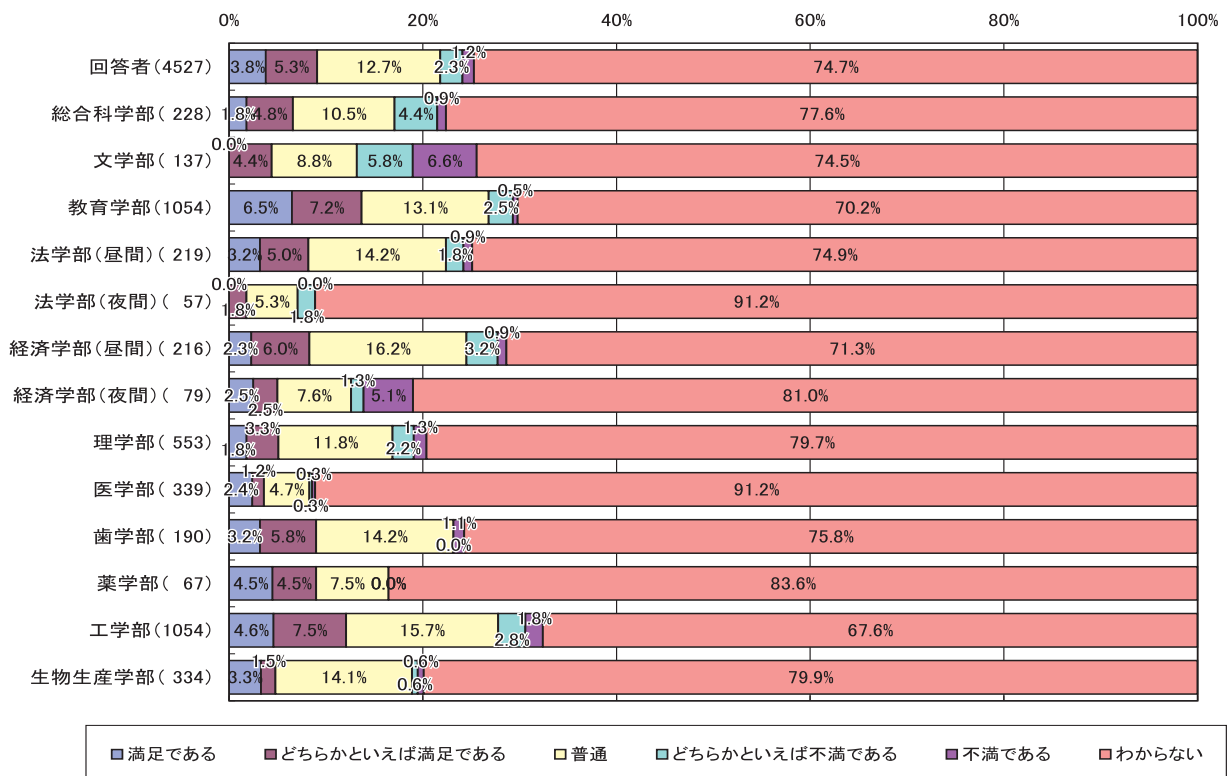
②法人本部棟2階の学生支援部門の対応



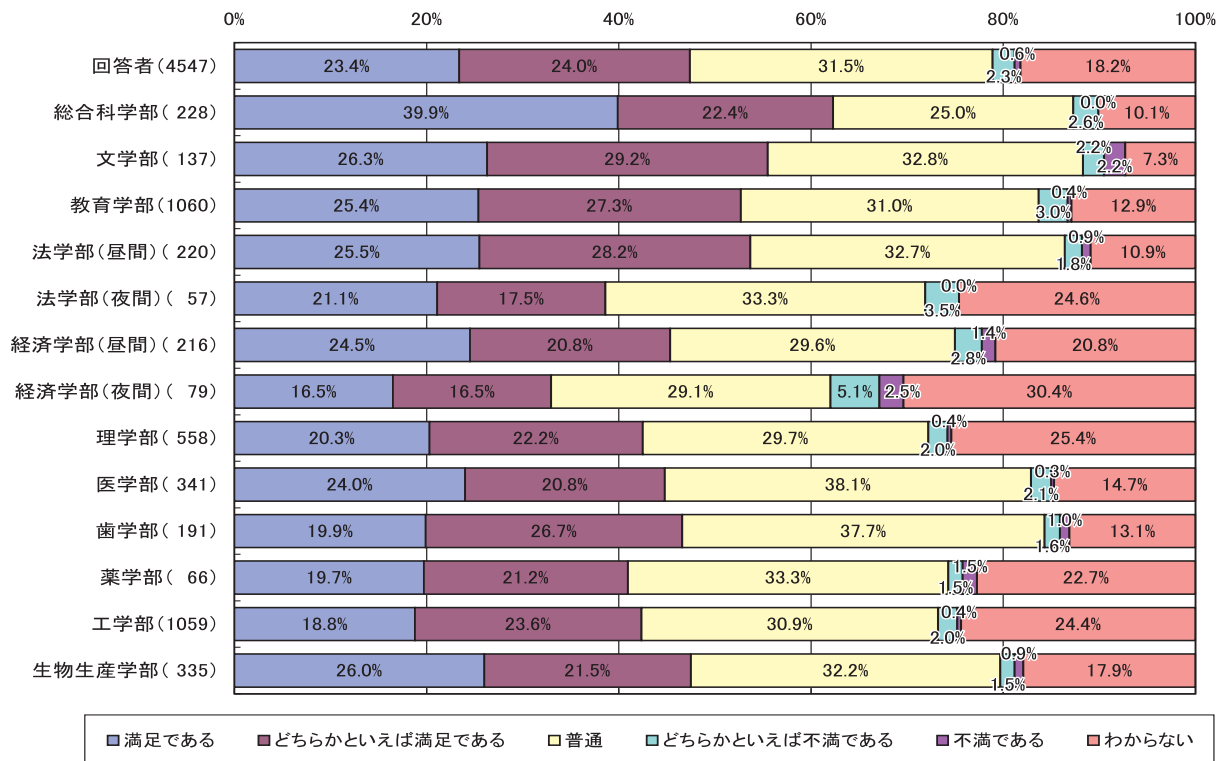
③キャリアセンターの対応



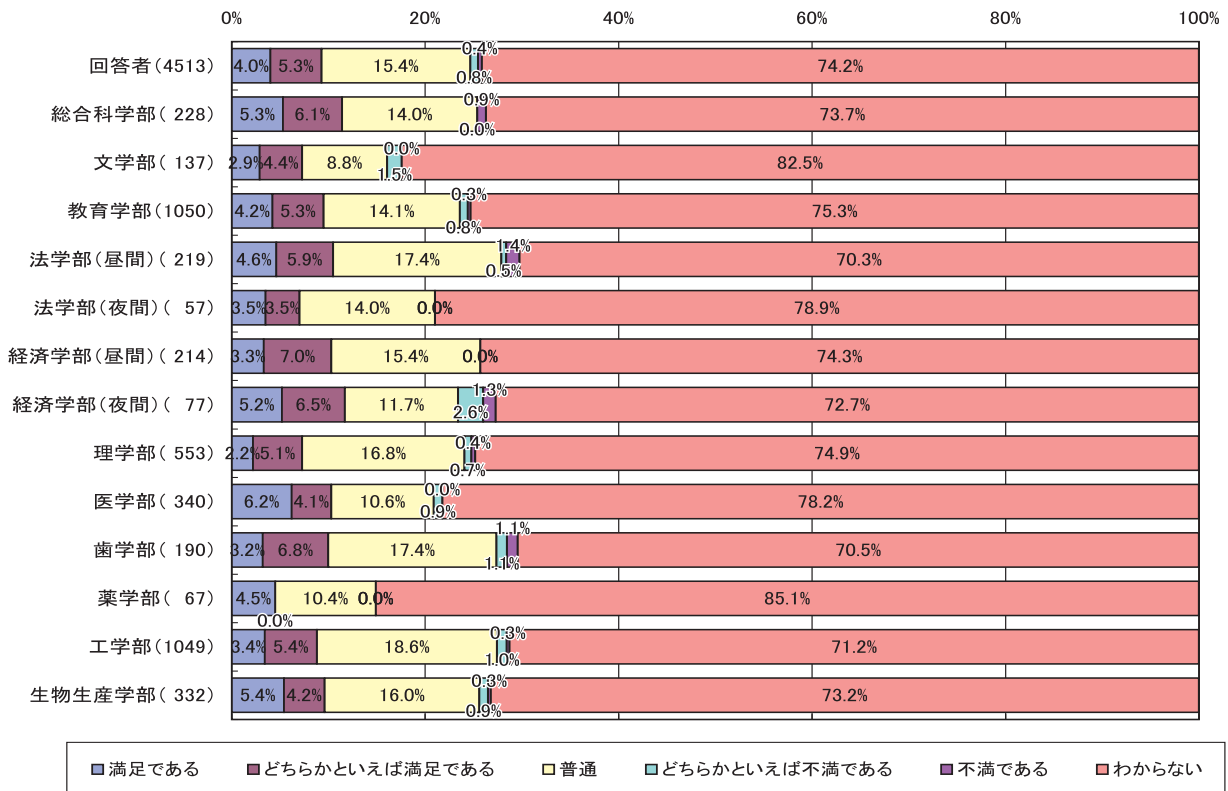
④学科・課程・類の就職対応



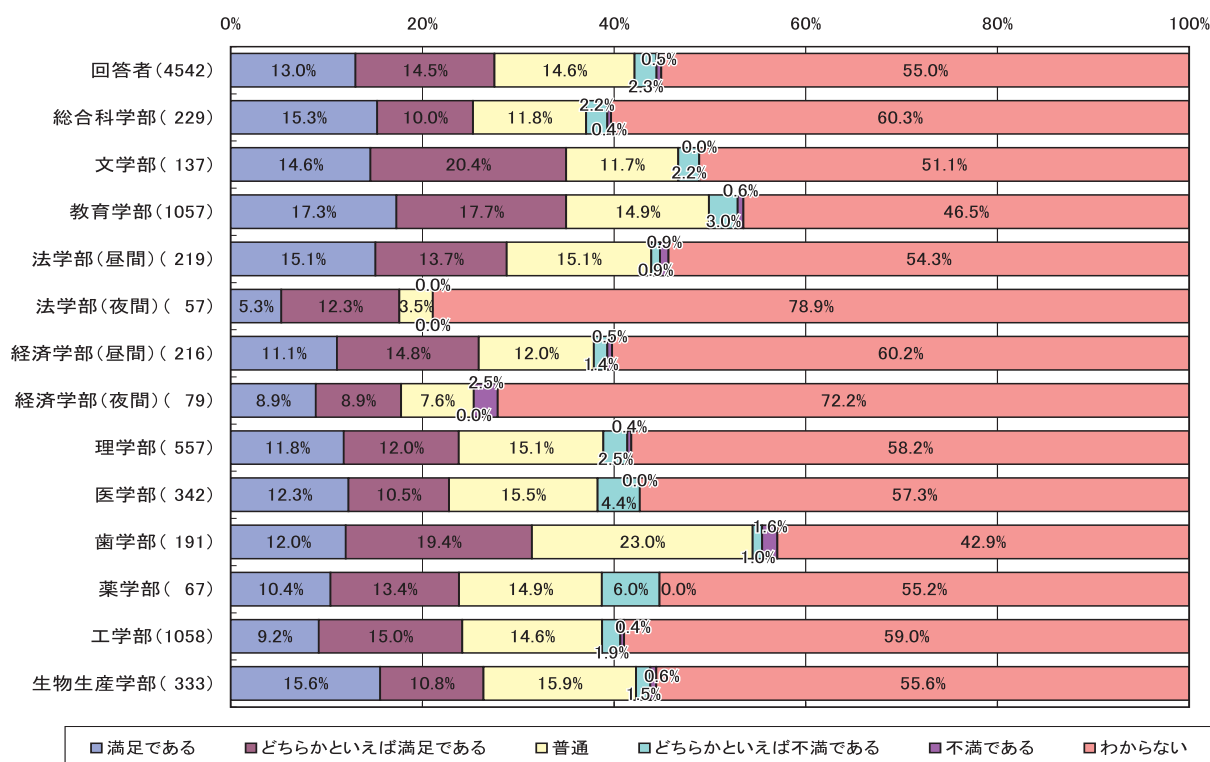
⑤図書館窓口の対応



⑥入学センターの対応



⑦保健管理センター(メンタルヘルス・カウンセラー)の対応



⑧保健管理センター(健康診断等)の対応

